

■地域文化研究専攻教員の活動(2021年1月～12月)

- *所属教員名の五十音順に、各人の研究活動を下記の項目にしたがって記載した。
- *該当業績のない項目は省略している。
- *前年記載漏れの業績なども含む。

A. 著書, B. 分担執筆, C. レフェリー付き学術論文, D. 一般学術論文, E. 翻訳, F. その他の業績, G. 国際学会での活動, H. 国内学会での活動, I. その他の研究活動, J. 受賞

秋葉 淳(AKIBA Jun)

B. 分担執筆

- Jun Akiba. Muallimhane-i Nüvvab'dan Mekteb-i Kuzat'a: Osmanlı Kadı Okulunun Yarım Yüzyıllık Serüveni. Ahmet Hamdi Furat (ed.) *Sahn-ı Semân'dan Dârülfünûn'a: XIX. Yüzyıl Osmanlı'da İlim ve Fikir Dünyası: Âlimler, Müesseseler ve Fikrî Eserler, XIX. Yüzyıl.* p. 536. pp. 13-29. Zeytinburnu Belediyesi Kültür Yayınları.2021.

G. 国際学会

- İSAMER Merkez Konuşmaları, Bahar 2021-11. İstanbul Üniversitesi İslam Araştırmaları Uygulama ve Araştırma Merkezi. オンライン開催. 2021年6月9日. 招待講演. Muallimhane-i Nüvvab (1855-1924): Son Dönem Osmanlı Eğitiminde bir Medrese-Mektep Sentezi. トルコ語.

足立信彦(ADACHI Nobuhiko)

網野徹哉(AMINO Tetsuya)

有田 伸(ARITA Shin)

B. 分担執筆

- 有田伸・数土直紀・白波瀬佐和子. 人生後期の階層構造. 有田伸・数土直紀・白波瀬佐和子(編). 『少子高齢社会の階層構造3 人生後期の階層構造』. p. 241. pp. 9-16. 東京大学出版会. 2021.
- 有田伸. 稼得歴の推定を通じた男性高齢者の社会経済的格差分析. 有田伸・数土直紀・白波瀬佐和子(編). 『少子高齢社会の階層構造3 人生後期の階層構造』. p. 241. pp. 19-35. 東京大学出版会. 2021.

C. レフェリー付き学術論文

- 有田伸. アジア社会の比較研究とはいったい何か——目的・プロセス・意義. 『教育社会学研究』. 108. pp. 19-38. 日本教育社会学会. 2021.

D. 一般学術論文

- 有田伸, ネガティブ・ケイバビリティと新型コロナ感染という危機, 『日本労働研究雑誌』, 63.4, pp. 90–94, 労働政策研究・研修機構, 2021.
- 有田伸, ポスト産業化時代の日本と韓国における格差問題, 『国際問題』, 703, pp. 26–34, 日本国際問題研究所, 2021.
- 有田伸・仲修平, 変化の向き等を区別したパネルデータ分析の実践——それでも使いたいあなたに, 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクトディスカッションペーパーシリーズ, 134, p. 20, 東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センター, 2021.

F. その他の業績

- 有田伸, 書評, (今井順著) 雇用関係と社会的不平等——産業的シティズンシップ形成・展開としての構造変動, 『季刊 個人金融』, 16.2, pp. 110–111, 一般財団法人ゆうちょ財団, 2021.

G. 国際学会

- Research on East Asian Demography and Inequality (READI) Forum. Princeton University. Online (Princeton University). 2021.4.13, 招待発表, Income Inequality in Japan from a Sociological Perspective. 英語.
- The 2nd Congress of East Asian Sociological Association. East Asian Sociological Association. Online (Pukyong National University, Korea). 2021.10.29–30, 一般発表, Toward the Indigenization of Social Stratification Studies in East Asia: Focusing on the Effects of Institutional Settings. 英語.

H. 国内学会

- 東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センター課題公募型二次分析研究会「公開データを用いた社会階層構造と教育の変容に関する分析」研究成果報告会, 東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センター, オンライン (東京大学), 2021.3.25, 一般発表, 就業構造基本調査を用いた収入格差の要因分解——時点間の変化に着目して.
- 第71回数理社会学会大会, 数理社会学会, オンライン (岩手県立大学), 2021.9.4–5, 一般発表, 所得格差の受容と正当化に関する実証研究 (1): 適正所得・推定所得・確信度 (永吉希久子・多喜弘文・神林博史・竹ノ下弘久・吉田崇との共同報告).
- 第94回日本社会学会大会, 日本社会学会, オンライン (東京都立大学), 2021.11.14–15, 一般発表, 就業構造基本調査データを用いた雇用形態間所得格差の探索的分析.

アルヴィ宮本なほ子 (ALVEY MIYAMOTO Nahoko)

F. その他の業績

- Alvey, Miyamoto Nahoko, and Steve Clark, eds. Special Issue: The Visual Turn in Romantic and Victorian Studies in Britain and Japan. *POETICA*. 95&96. pp. 1–67. Maruzen-Yushodo. 2021.

H. 国内学会

- 第47回イギリス・ロマン派学会全国大会, イギリス・ロマン派学会, Zoom 開催, 2021.10.17, 一般発表, コウルリッジのマージナル・グロスとロマン派的なコンヴァージエンス・カルチャー.

I. その他の研究活動

- 福岡大学大学院講演会福岡大学大学院, Zoom 開催, 2021.1.9, 招待講演, コロナ禍の中で“The Rime of the Ancient Mariner”を読むということ.

井坂理穂 (ISAKA Riho)

A. 単著

- Isaka, Riho. *Language, Identity, and Power in Modern India: Gujarat, c. 1850–1960*. p. 193. Abingdon: Routledge, 2021.

B. 分担執筆

- 井坂理穂, グジャラーティー語文学概観——近現代を中心に——, 粟屋利江・太田信宏・水野善文 (編), 『言語別南アジア文学ガイドブック』, p. 425, pp. 301–17, 東京外国語大学拠点南アジア研究センター, 2021.

C. レフェリー付き学術論文

- Isaka, Riho. Travelling and Food in Colonial India: Experiences of Japanese Travellers in the Early Twentieth Century. *International Journal of South Asian Studies*. 11. pp. 33–46. 2021.

F. その他の業績

- 井坂理穂, 項目執筆, 「インド大反乱 誰が何のために起こしたのか」, 吉澤誠一郎監修『論点・東洋史学——アジア・アフリカへの問い 158——』, p. 362, pp. 242–243, ミネルヴァ書房, 2022.
- Isaka, Riho and Saumya Gupta, 巻頭言, Preface: Food, Space, and Power in South Asia. *International Journal of South Asian Studies*. 11. pp. 1–3. 2021.
- 『角川まんが学習シリーズ 世界の歴史』第9巻第2章, 第11巻第4章, 第15巻第4章プロット執筆・監修, 2021.

G. 国際学会

- Knowledge on the Move: Connectivities, Frontiers, Translations in Asia. オンライン (東京大学南アジア研究センター), 2021.1.9–1.10, 企画、司会、発表, Travel Experiences and Knowledge Formation: Narratives of Japanese Travellers in Colonial India. 英語.
- TINDAS Seminar: Food and Social Changes in Contemporary India. オンライン (東京大学南アジア研究センター), 企画, 2021.2.19.
- 東京大学ヒューマニティーズセンター第42回オープンセミナー, When Knowledge Moves with Humans: Travel, Mobility, and Media in Asia. オンライン (東京大学ヒューマニティーズセンター), 企画、司会、ディスカッション, 2021.9.17, 英語.

H. 国内学会

- 東京大学ヒューマニティーズセンター第38回オープンセミナー: 語る力が権力を作る? ——歴史からの問い——, オンライン (東京大学ヒューマニティーズセンター), 2021.7.9, 発表, M.K. ガーンディーの「語り」.

- 国立民族学博物館共同研究会：戦争・帝国主義と食の変容：食と国家の関係を再考する，オンライン（国立民族学博物館），2021.9.13，発表，植民地期インドにおける飲酒とナショナリズム。
- 東京大学ヒューマニティーズセンター第42回オープンセミナー：ことばとことばの間——近代アジアにおけることばをめぐる模索——，オンライン（東京大学ヒューマニティーズセンター），2021.12.10，企画、司会、発表，近代インドからみることばと翻訳。

石井 剛 (ISHII Tsuyoshi)

B. 分担執筆

- 石井剛，まえがき，東京大学東アジア藝文書院編，『私たちはどのような世界を想像すべきか』，p. 360，pp. 3–15，トランスビュー，2021。
- 石井剛，第9講「中国」と「世界」——どこにあるのか」，東京大学東アジア藝文書院編，『私たちはどのような世界を想像すべきか』，p. 360，pp. 270–300，トランスビュー，2021。
- 中島隆博・石井剛，東アジア藝文書院の設立，駒場70年史編集委員会編，『駒場の70年』，p. 468，pp. 231–256，東京大学出版会，2021。

F. その他の業績

- 飯島渉・坂元ひろ子・下出鉄男・石井剛（司会），座談会「中国の近代と疫病——個人・社会・国家」，中国——社会と文化，36，2021。
- 中島隆博・石井剛・橋本摂子・イザベル・ジロドウ・羽藤英二・開一夫，EAA Forum 6 座談会4 テクノロジーの時代における人間の学問，p. 70，東アジア藝文書院，2021。
- Takahiro Nakajima, Tsuyoshi Ishii, Kaz Oishi, Yuichiro Watanabe, Jonathan Woodward, Taihei Okada, Akira Inoue. *EAA Forum 3 Roundtable Discussion 2 World Kyōyō-gaku and Future Liberal Arts*. p. 89. East Asian Academy for New Liberal Arts, the University of Tokyo. 2021.
- 中島隆博・石井剛・王欽・國分功一郎・金杭・張政遠，EAA Forum 4 感染症の哲学，p. 69，東アジア藝文書院，2021。
- 中島隆博・石井剛・納富信留・大石和欣・田辺明生・成田大樹，EAA Forum 5 座談会3 アートの再定義，p. 93，東アジア藝文書院，2021。

G. 国際学会

- 第4回清華会講「高質量共建“一帯一路”與全球治理」第2セッション「東亜文明互鑑與和平發展」，清華大学，清華大学（オンライン），2021.12.18，招待講演，時間・空間・人間：反思“世界史哲学”的挫折命運，中国語。
- GSI キャラバンプロジェクト「主権の諸条件」第4回ワークショップ“Rethinking the Concept of ‘Imperial Sovereignty’ in the Age of Trade War” by Zhang Yongle. 東京大学グローバル・スタディーズ・イニシアティブ，東京大学（オンライン），2021.12.18，ディスカッサント，英語。
- 院生カンファレンス「Good Life, Emotions, and the Senses in Asian Philosophy」，国立政治大学哲学系，国立政治大学（オンライン），2021.12.16–17，基調講演，The “Li”（禮）against “Lijiao”（禮教）

: Reinterpretation of Confucian Classics for Radical Transformation to the Modernity. 英語.

- MOOC 連続セミナー「哲学：中国與世界」，華東師範大学哲学系，華東師範大学（オンライン），2021.12.1，招待講演，中国哲学遡源新考，中国語。
- 第46回オープンセミナー「作為深入理解中国方法的“革命-後革命”」（賀照田），東京大学ヒューマニティーズセンター，東京大学（オンライン），2021.11.18，コメンテーター，中国語。
- GSI キャラバンプロジェクト「主権の諸条件」第3回ワークショップ“The Birth of the Century: China and the Conditions of Spatial Revolution” by Wang Hui，東京大学グローバル・スタディーズ・イニシアティブ，東京大学（オンライン），2021.11.6，司会者兼ディスカッサント，英語。
- 学術講演会「莊子“是非之辨”與齊物哲学」，清華大学国学研究院，清華大学（オンライン），2021.10.16，招待講演，中国語。
- GSI キャラバンプロジェクト「主権の諸条件」第2回ワークショップ「立憲的ポピュリズムと軍事クーデター——刊刻現代史に於ける人民主権の運命」（金杭），東京大学グローバル・スタディーズ・イニシアティブ，東京大学（オンライン），2021.10.16，ディスカッサント，日本語。
- 国際シンポジウム「東アジア哲学ジャーナル創刊記念シンポジウム」，International Society of East Asian Philosophy，明治大学（オンライン），2021.9.11，モデレーター，英語。
- 「「共生」：生命科学與哲学視角」ワークショップ，北京大学バークグルエン研究センター，2021.8.19-20，一般発表，文的縫隙、混沌之辺：中国哲学與共生世界の想像，中国語。
- オンラインダイアログ「発微『老子』和『莊子・齊物論』の共生哲学之潜力」，トランスカルチュラル漢学の共生プラットフォーム，国立中山大学（オンライン），2021.8.6，招待講演，章太炎『齊物論釈』“天籟怒號”对国家民族、語言文化的超克意義，中国語。
- GSI キャラバンプロジェクト「主権の諸条件」第1回ワークショップ“Qualified immunity or conditional sovereignty: on defective institutions” by Jacques Lezra，東京大学グローバル・スタディーズ・イニシアティブ，東京大学（オンライン），2021.7.24，ディスカッサント，英語。
- 2021 紹興元培サミット「東亜文明與通識教育的視野」，北京大学元培学院，紹興賓館（オンライン），2021.7.17，一般発表，通向三十年後的世界：東京大学東亜藝文書院の願景，中国語。
- 元培学院講演会「中国哲学的新氣象：共同構建我們一個人的生活與世界」，北京大学元培学院，北京大学（オンライン），2021.6.2，招待講演，中国語。
- EAA 国際シンポジウム「一高中国人留学生と 101 号館の歴史」，東京大学東アジア藝文書院，東京大学（オンライン），2021.3.17，司会兼ディスカッサント，日本語。
- EAA 学術ワークショップ「書院作為哲学」，東京大学東アジア藝文書院，東京大学（オンライン），2021.2.20，一般発表，哲学、文献学以及“無知の教師”：東京大学東亜藝文書院の願景，中国語。
- 華東師範大学 - 東京大学クローズド会議「中国現当代文学研究的方法及其射程」，東京大学東アジア藝文書院，東京大学（オンライン），2020.12.21，一般発表，現代“科学”觀念の復古創新：兼及章太炎医論的一些啓示，中国語。

H. 国内学会

- 第5回 EAA 座談会「「人間」を価値化する」, 東京大学東アジア藝文書院, 東京大学 (オンライン), 2021.8.5, 一般発表, 斉物的平等と「渾沌」のメカニズム.

石田勇治 (ISHIDA Yuji)

E. 翻訳

- ウルリヒ・ヘルベルト, 壁崩壊の後で——1989年以降のドイツ現代史, 『ヨーロッパ研究』, 20, pp. 59–67, 2020.

F. その他の業績

- 石田勇治, 冷戦時代のドイツ——4つの特徴, 『ヨーロッパ研究』, 20, pp. 55–57, 2020.
- Ishida, Yuji. Opening Remarks. An Anniversary Event of the Tokyo Judgment at 70 and the Rome Statute of the International Criminal Court at The Hague at 20 —, *European Studies*, 20, pp. 81–82, 2020.
- 石田勇治, 鼎談, 「事典」を超えるために (『ドイツ文化事典』丸善出版), 『図書新聞』, 3480, 2021.1.23.
- 石田勇治, 人権意識の捉え直しを, 宮崎日日新聞, 2021.7.23.
- 石田勇治, 「人権軽視」日本社会の現状あらわに, ナチスめぐりいつかこうなるかと, 朝日新聞, 夕刊, 2021.7.28.

I. その他の研究活動

- 石田勇治, NHK BS プレミアム, ザ・プロファイラー, ヒトラーの広告塔 ゲッベルス, 2021.11.11, 放送, 監修, オンライン出演.
- 石田勇治, ドイツ近現代史再考, 朝日カルチャーセンター, 2021.8.27/9.10/9.24, 講演.
- 石田勇治, 『ドイツ文化事典』(丸善出版) 刊行記念シンポジウム, 東京大学大学院総合文化研究科付属グローバル地域研究機構ドイツ・ヨーロッパ研究センター, 2021.7.18, リプライと討論.
- 石田勇治, 『現代ドイツへの視座 (全三巻)』(勉誠出版) 完結記念シンポジウム, 東京大学大学院総合文化研究科付属グローバル地域研究機構ドイツ・ヨーロッパ研究センター, 2021.12.12, リプライと討論.

石橋 純 (ISHIBASHI Jun)

I. その他の研究活動

- (講演会企画・司会・通訳) 立教大学ラテンアメリカ研究所主催オンライン講演会「メキシコ、ベラクルスにおける民衆音楽: 口承から大学教育へ」(講演: ルベン・メルガレホ, メキシコ国立ベラクルス大学専任講師) 2021年10月30日.

井上博之 (INOUE Hiroyuki)

王 欽 (WANG Qin)

B. 分担執筆

- 王欽「AI時代の潜勢力と文学」, 東京大学東アジア藝文書院, 『私たちはどのような世界を想像すべきか』, p. 360. pp. 301–328. トランスビュー, 2021.

C. レフェリー付き学術論文

- 王欽「エクリチュールと記憶の弁証法——魯迅『呐喊・自序』を読む」『中国——社会と文化』第三十六号, pp. 199–215. 2021.
- Wang, Qin, Literature, Powerlessness, and Modernity: A Reading of Takeuchi Yoshimi's "What Is Modernity?". *positions: asia critique*, 29.2. pp. 399–422. 2021.

D. 一般学術論文

- Wang, Qin, On Takeuchi Yoshimi's Aesthetics of "Eschatology". *Frontiers of Literary Studies in China*, 15.1. pp. 48–74. 2021.

E. 翻訳

- 王欽, Jacques Derrida, 《野兽与主权者(卷一)》(Séminaire La bête et le souverain I の中国語訳), pp. 564. 西北大学出版社, 2021.

G. 国際学会

- "Reality / Fiction in Philosophy and Literature". The University of Bonn / New York University / The University of Tokyo. Online symposium, May 6, 7, 14, 2021. 一般発表, "A Reading of Lu Xun's Preface to Outcry". 英語.

大塚 修 (OTSUKA Osamu)

E. 翻訳

- 亀谷学・大塚修・松本隆志, イブン・ワーディフ・ヤアクービー著『歴史』訳注(2), 『人文社会科学論叢』, 10, pp. 113–154. 弘前大学人文社会科学部, 2021.

F. その他の業績

- OTSUKA, Osamu, 書評, H. Aishima, H. Yücesoy, R. M. Feener, O. Otsuka, S. Ogura, K. Kuroda, H. Kalmbach, & A. Salvatore. The Wiley Blackwell History of Islam. *The American Historical Review*, 126.1. pp. 199–213. American Historical Association. 2021.

G. 国際学会

- OTSUKA, Osamu. National Conference on Scientific and Cultural Heritage of Hamdollah Mostowfi Qazvini. Imam Khomeini International University (Qazvin). 2021.3.3. 一般発表(オンライン). Taḥqīq darbāre-ye Dheyl-hā-ye Tārīkh-e Gozīde: Dheyl-e Tāze Kashf Shode dar moured-e Tārīkh-e Jalāyeriyān (『選史』続編の研究: ジャラーイル朝史に関する新出史料), ペルシア語.

I. その他の研究活動

- 大塚修, イスラーム諸王朝の興亡, 朝日カルチャーセンター, 2021.1–2021.3.

岡田泰平 (OKADA Taihei)

F. その他の業績

- 座談会，分担執筆に準じる．Taihei Okada, Presentation 5, Takahiro Nakajima, et al. Roundtable Discussion 2, World Kyoyo-Gaku and Future Liberal Arts on April 1, 2020, EAA Booklet-8, p. 89. pp. 55–63. East Asian Academy for New Liberal Arts, The University of Tokyo. 2021.
- 書評．岡田泰平，小林太郎著『中国戦線、ある日本人兵士の日記——1937年8月～1939年8月侵略と加害の日常』新日本出版社，2021年，『しんぶん赤旗』，2021年4月4日，pp. 9. 2021.
- 制作協力．岡田泰平，第4章「東南アジア・インドの民族運動」，羽田正監修，『世界の歴史 13 帝国主義と帝国する人々 1890～1910年』，p. 223. pp. 170–202, 207–219. 株式会社 KADOKAWA, 2021.

G. 国際学会

- Session “Creation of the Reconciliation Studies,” Symposium “The Development of Reconciliation Studies in East Asia”. Waseda University, Kakenhi (1902). Online. 2021年3月4日．一般発表．“Citizens’ Movement and Historical Consciousness in Japan: Issues and Challenges”. 英語.

I. その他の研究活動

- 制作協力．NHK 総合「クローズアップ現代＋出所を望まぬ戦犯たち知られざる戦争の物語」2021年12月8日．22:00～22:30.

小川浩之 (OGAWA Hiroyuki)

B. 分担執筆

- 小川浩之，「反米」の代償——オーウェル，カーと同時代のイギリス知識人を通して，遠藤泰生（編），『反米——共生の代償か，闘争の胎動か』，p. 313. pp. 145–180. 東京大学出版会，2021.

D. 一般学術論文

- 小川浩之，EU 離脱とイギリスの安全保障——「内部からの脅威」としてのポピュリズムと欧州懐疑主義，『国際安全保障』，48.4. pp. 39–58. 国際安全保障学会，2021.
- Ogawa, H. Treaties and Contemporary International Order in Theory and Practice. *Pacific and American Studies*. 21. pp. 85–100. Center for Pacific and American Studies (CPAS), The University of Tokyo. 2021.

F. その他の業績

- 小川浩之，書評．イワン・クラステフ，ステイーヴン・ホームズ著，立石洋子訳，『模倣の罠——自由主義の没落』，中央公論新社，『外交』，67. pp. 140–143. 2021.
- 小川浩之，書評．黒田友哉，『ヨーロッパ統合と脱植民地化，冷戦——第四共和制後期フランスを中心に』，吉田書店，『日仏政治研究』，15. pp. 25–29. 2021.

G. 国際学会

- Small Nations: Comparative Perspectives from Japan and Quebec. Université Laval (Canada). 2021.11.26. 一般発表．Small Nations and the Commonwealth: Canada, Québec, Newfoundland and Saint-Pierre-et-

Miquelon. 英語.

- 5. Ostasiatische DAAD-Zentrenkonferenz. オンライン, 2021.11.5–11.6, 一般発表, The British Empire in History and Memory: Britain's Relations with Ireland and India in the Early Twentieth Century and the Present. 英語.

H. 国内学会

- 国際安全保障学会 2021 年度年次大会, 国際安全保障学会, オンライン, 2021.12.4–12.5, 上英明報告「移民問題は安全保障問題か? — マリエル危機におけるブレジンスキーの言動に注目して」, 武田悠報告「原子力に見るエネルギー政策と安全保障政策の連関 — カーター政権期の取り組みとその限界」, 溝口聡報告「カーター人権外交の理想と現実 — 対パキスタン政策を中心に」, 司会兼討論.
- 2021 年度西洋史研究会大会, 西洋史研究会, オンライン, 2021.11.20–11.21, 共通論題「ブリティッシュ・ワールド — 帝国紐帯とアイデンティティ」, コメンテーター.
- 日本国際政治学会 2021 年度研究大会, 日本国際政治学会, オンライン, 2021.10.29–10.31, 一般発表, イギリス帝国の遺産と現代国際関係 — 脱植民地化過程における連邦国家と小国への分岐.
- 日本政治学会 2021 年度研究大会, 日本政治学会, オンライン, 2021.9.25–9.26, 山本健報告「新冷戦とヨーロッパ・デタント」, 三宅康之報告「中国における改革開放と新冷戦」, 吉留公太報告「冷戦終結過程におけるアメリカ外交と「新冷戦」の再検討」, コメンテーター.
- CHIR-JAPAN (国際関係史学会) 研究会例会, CHIR-JAPAN (国際関係史学会), オンライン, 2021.5.29, 一般発表, 戦後イギリスのヨーロッパ統合政策と帝国 = コモンウェルス — 「第三勢力」構想を中心に.
- Maritime Order Workshop. オンライン, 2021.3.13, 一般発表, The Simonstown Agreement and the Transformation of Maritime Order in the Indian Ocean, 1955–1975, 英語.

I. その他の研究活動

- 講演, 時事トップセミナー, 時事通信社ロンドン支局, オンライン, 2021.3.31, コモンウェルス (英連邦) とは何か — プレグジット後の世界で考える.

上 英明 (KAMI Hideaki)

B. 分担執筆

- 上英明, キューバ白衣外交の文脈 — トランプとコロナ, 川島真・池内恵 (編), 『UP plus 新興国から見たアフターコロナの時代 — 米中対立の間に広がる世界』, p. 189, pp. 171–182, 東京大学出版会, 2021.

G. 国際学会

- アメリカ国際関係史学会年次大会 2021, アメリカ国際関係史学会 (Society of Historians of American Foreign Relations), オンライン, 2021.6.19, 一般発表, Migration: Becoming a Major Theme of the

US and the World, 英語, 司会兼運営委員.

- アメリカ歴史学会年次大会 2021, アメリカ歴史学会 (Organization of American Historians), オンライン, 2021.4.15–4.18, 一般発表, Another CIA Operation? The Mariel Boatlift, the US Invasion of Grenada, and Reagan's Deportation Schemes, 英語.

H. 国内学会

- 日本国際安全保障学会年次大会 2021, 日本国際安全保障学会, オンライン, 2021.12.5, 一般発表, 移民問題は安全保障問題か? — マリエル危機におけるブレジンスキーの言動に注目して.
- 国際問題研究所 2021, オンライン, 2021.8.4, 招待講演, 人の移動とエコノミック・ステイトクラフト — マリエル危機を事例に.

川喜田敦子 (KAWAKITA Atsuko)

B. 分担執筆

- 川喜田敦子, 自国史を越えた歴史教育, 中央大学文学部実践的教養演習第1部門 2020 (編), 『読書する知性「本づくり」演習成果』, p. 240, pp. 14–26, 中央大学出版部, 2021.
- 川喜田敦子, ドイツ史のなかの人の移動 — 「難民」がつなぐ歴史と現在, 中坂恵美子・池田賢市 (編), 『人の移動とエスニシティ — 越境する他者と共生する社会に向けて』, p. 260, pp. 67–82, 明石書店, 2021.

D. 一般学術論文

- 川喜田敦子, 人の移動と近代のはじまり, 『史潮』, 90, pp. 56–62, 歴史学会, 2021.

F. その他の業績

- 川喜田敦子, 書評, 移民のヨーロッパ史 ドイツ・オーストリア・スイス, 『産経新聞』, 2021.12.19.
- Kawakita, A. インタビュー, Die beste Unterstützung für eine wissenschaftliche Zusammenarbeit ist ein persönliches Netzwerk. Connecting East and West. A short interview with Prof. Dr. Kawakita. DWIH Tokyo. 2021.11.05, ドイツ語・英語・日本語.
- Kawakita, A. インタビュー, Die DAAD-Wahlbeobachterreise 2021. Deutscher Akademischer Austauschdienst. 2021.9.21, ドイツ語.
- 川喜田敦子, 項目執筆, 過去と向き合い、未来を拓く — 第二次世界大戦後の日独間の関心と協力 —, オンライン展示会「日独交流 160 周年 軍事協力を超えて」, 2021.7.26–, 日本語・ドイツ語.
- 川喜田敦子, 書評, 本の棚: 鶴見太郎著『イスラエルの起源 ロシア・ユダヤ人が作った国』, 『教養学部報』, 626, 2021.
- 川喜田敦子, 書評, 書評: 『戦後オーストリアにおける犠牲者ナショナリズム — 戦争とナチズムの記憶をめぐる — 』, 『ドイツ研究』, 55, pp. 61–64, 2021.

G. 国際学会

- 5. Ostasiatische DAAD-Zentrenkonferenz. Gemeinsam für eine nachhaltige Zukunft in Europa und Ostasien.

Panel: Vergangenheit — Gegenwart — Zukunft. Teil 2: Geschichte und Gedächtnis. Zentrum für Deutschland- und Europastudien (Universität Tokyo), Zentrum für Deutschlandstudien (Peking Universität), Zentrum für Deutschland- und Europastudien (Chung-Ang-Universität). オンライン開催. 2021.11.6. ドイツ語. 司会.

- 53. Deutscher Historikertag. Deutungskämpfe. Panel: Opferkonkurrenzen in Erinnerungskulturen: Deutschland, Israel, Japan, Südkorea. Verband der Historiker und Historikerinnen Deutschlands. オンライン開催. 2021.10.6. 一般発表. Opfer und Täter in der japanischen Erinnerungslandschaft. ドイツ語.
- 2nd conference of the International Association for Reconciliation Studies. Panel 1: Historical Origin of Reconciliation in Asia. International Association for Reconciliation Studies. オンライン開催. 2021.8.5. 招待講演. From National History to Regional History. Reconciliation between Germany and Poland beyond War Experiences. 英語.

H. 国内学会

- 『現代ドイツへの視座』完結記念シンポジウム. 東京大学ドイツ・ヨーロッパ研究センター, 東京大学グローバル地域研究機構. オンライン開催. 2021.12.12. リプライ.
- 加藤聖文『海外引揚の研究』刊行記念シンポジウム. 科学研究費研究班「東アジアのポストコロニアルを聞き取る」(研究代表・蘭 信三), 上智大学大学院 GS 研究科国際関係論専攻. オンライン開催. 2021.5.8. コメント. 『海外引揚の研究』を読んで.
- 公開ウェビナー「あらためて朝鮮戦争を考える: 日本・東ドイツ・韓国・中国の視点から」. 公益財団法人・日本国際問題研究所. オンライン開催. 2021.4.24. 招待講演. 朝鮮戦争後の北朝鮮復興支援——東ドイツの咸興復興支援を中心に——.

I. その他の活字にならない研究活動

- 講演. 2021 年連邦議会選挙から考えるドイツの現在. 立教大学全学共通科目言語 B 連続企画「世界を知ろう!」ドイツ語講演会. 立教大学. 2021.12.20.
- 対談. ランチトーク: 2021 年ドイツ連邦議会選挙を振り返って——日独関係の今後——. ドイツ学術交流会 (DAAD) 東京事務所, ゲーテ・インスティテュート東京. オンライン開催. 2021.9.28.
- ビデオ解説. ドイツと過去の克服. オンライン展示会「日独交流 160 周年 軍事協力を超えて」. 2021.7.26-.

キハラハント愛 (KIHARA-HUNT Ai)

B. 分担執筆

- Kihara-Hunt, Ai and Julieta dos Santos, 'Leading People through a Fight to Freedom on Liquica District, Timor-Leste: the Story of Amadeo Dias Albino dos Santos'. Mark Dennis and Rima Abunasser (eds.) *Voices of Freedom*. Academia Press, 2021 (expected).
- Kihara-Hunt, Ai. *Challenge to the Rule of Law in North-East Asia*. Modesto Seara Vázquez, *Pandemic: The*

Catastrophic Crisis (English and Spanish Editions). pp. 317–350. Universidad del Mar. 2021.

C. レフェリー付き学術論文

- Yasunobu Sato, Ai Kihara-Hunt and Yuichi Sekiya, 'Conclusion', Journal on Human Security Studies, Special Issue: Refugees/Migrants and Work and Education, pp. 171–187, (Spring 2021).

F. その他の業績

- 赤十字国際委員会 (ICRC). 2021 年度国際人道法模擬裁判・ロールプレイ大会. 2021.11.27, 2021.12.12. 東京大学チーム・優勝. コーチ.
- The International Bar Association (IBA). ICC Moot Court Competition. 2021.6.25. 日本チームコーチ.
- United Nations Human Rights Council (UNHCR). The Nelson Mandela World Human Rights Moot Court Competition. 2021.7.3–7.16. 日本チームコーチ.
- 赤十字国際委員会 (ICRC) 国際人道法模擬裁判大会. 赤十字国際委員会・香港大学. 2021.3.11–3.14. アジア太平洋地域大会. 日本チーム・アジア太平洋大会準優勝. コーチ.
- Vice-President, Editorial Committee. Journal on Human Security Studies. Special Issue 'Refugees/Migrants and Work and Education'. Spring 2021.
- Academic Council on the United Nations System (ACUNS) セクレタリー 2021–.
- 人間の安全保障学会理事 2021–.
- 学術雑誌 Global Governance, editor.
- 学術雑誌 Geografia, section editor.

G. 国際学会

- Crowdsourcing in the Time of COVID19: Promising Practices for Human Rights. United Nations Human Rights. Online. 2021.11.29. 英語. パネリスト.
- Japan Association for Human Security Studies Annual Conference 2021 Health and Human Security. Japan Association for Human Security Studies (JAHSS). Online. 2021.10.9–10.10. Theoretical Studies on Human Security. 英語. コメンテーター.
- Operating abroad: Enhancing the ombuds institutions' cooperation in the context of UN peacekeeping operations international workshop. Geneva Centre for Security Sector Governance (DCAF). Online. 2021.10.4–10.5. The interface of complaints mechanisms at national and international level. 英語. スピーカー・グループリーダー.
- Refugees in Japan, Now and Then: Reflecting on 70 Years of the 1951 Refugee Convention. United Nations Major Group for Children and Youth (UN MGCY)・Japan Working Group on Migration and Young Professionals in Foreign Policy (YPFP). 2021.7.2. モデレーター.
- 2021 Annual Meeting Global Virtual Event. Academic Council on the United Nations System (ACUNS). Online. 2021.6.24–6.26. Toward a Fit for Future United Nations System. 英語. コメンテーター・司会・座長・研究発表.
- ILA Sweden Panel Discussion. International Law Association — Sweden Branch. UN Soldiers: protectors

or perpetrators? A panel discussion on the challenges with UN Peacekeeping forces. On-line. 2021.5.20. 英語. パネリスト.

- 14th UN Congress on Crime Prevention and Criminal Justice (7-21 March 2021). United Nations Office on Drugs and Crime (UNODC). 9 March 2021. Ancillary Meeting on Inclusive Implementation of UNTOC Review Mechanism: The Role of UNODC in Enabling Civil Society, the Private Sector and Academics in Supporting Member States. 招待講演. 英語. パネリスト.

H. 国内学会

- The 13th INDAS-South Asia International Conference. Integrated Area Studies on South Asia (INDAS). Online. 2021.12.18–12.19. Institutional Politics and Beyond. 英語. コメンテーター.
- 世界の人権問題と日本. 栃木県宇都宮市生活協同組合 役員・幹部職員定期学習会. 宇都宮. 2021.12.14. 招待講演. 講師.
- ILO グローバル・キャリアセミナー. 国際労働機関 (ILO). 国際機関で働くこと、求められる人材とグローバル人材育成への取組. 2021.12.10. 招待講演. スピーカー.
- 国際平和協力活動セミナー. 国際活動教育隊研究科. オンライン. 2021.11.24. 国際平和協力活動の包括的アプローチと課題. スピーカー・グループリーダー.
- On-site Film Screening and Discussion: 'Ushiku'. DIJ・FES・OAG. 2021.11.19. コメンテーター.
- 東京平和構築オンラインフォーラム 2021. 日本国際平和構築協会. 2021.11.13. セクションの主催・モデレーター.
- オンラインセミナー 日本国際平和構築協会 (GPAJ) 京都国際平和構築センター (KPC) 共催 講演討論会. 日本国際平和構築協会 (GPAJ)・京都国際平和構築センター (KPC). 2021.10.9. コメンテーター.
- 東京大学「人間の安全保障」プログラム (HSP) セミナー. ミャンマーにおける人間の安全保障——COVID-19の影響と日本の役割——. 2021.7.10. 英語. 司会.
- 東京大学「人間の安全保障」プログラム (HSP) セミナー「人権侵害を制するマグニツキー法: 表現の自由の保護」2021.7.8. 英語. 司会.
- 京都平和構築センター (KPC)・日本国際平和構築協会 (GPAJ)・国連システム学術評議会東京連絡事務所 (ACUNS-Tokyo) セミナー. 京都平和構築センター (KPC)・日本国際平和構築協会 (GPAJ)・国連システム学術評議会東京連絡事務所 (ACUNS-Tokyo). 2021.7.3. モデレーター.
- 東京大学「人間の安全保障」プログラム (HSP) セミナー「人権侵害を制するマグニツキー法: 比較研究セミナー」2021.6.17. 英語. 司会.
- 東京大学「人間の安全保障」プログラム (HSP) セミナー. コロナ禍における民間の人権ベストプラクティス. 2021.6.11. 英語. 司会.
- 京都平和構築センター (KPC)・日本国際平和構築協会 (GPAJ)・国連システム学術評議会東京連絡事務所 (ACUNS-Tokyo) セミナー. ACUNS 東京事務所・日本国際平和構築協会・京都平和構築センター (KPC). オンライン. 2021.6.3. 英語. 主催・モデレーター.

- 東京大学「人間の安全保障」プログラム (HSP) セミナー, 国際人道法基礎から模擬裁判・ロールプレイまで, 2021.5.18・2021.5.25・2021.6.1, 英語, 講師・企画運営,
- Academic Council on the United Nations System (ACUNS) 東京事務所・日本国際平和構築協会セミナー, ACUNS 東京事務所・日本国際平和構築協会, オンライン, 2021.3.19, 'Last Days of the Soviet Union', 英語, 総合司会・運営,
- 東京大学「人間の安全保障」プログラム (HSP) セミナー・国際法研修研究ハブシンポジウム, 東京大学「人間の安全保障」プログラム (HSP)・持続的平和研究センター・国際法研修研究ハブ・グローバルスタディーズイニシアチブ事務局・ヒューマンライツウォッチ, オンライン, 2021.3.12-3.13,
- Symposium on Sanctioning Human Rights Violations: Magnitsky Laws in the World- Lessons Learned, 英語, 総合司会・運営,
- 陸上自衛隊国際活動教育隊セミナー, 陸上自衛隊国際活動教育隊, オンライン, 2021.2.19, 招待講演, 「コロナ禍での国際活動への影響」, 英語, パネリスト,
- 東京大学「人間の安全保障」プログラム (HSP) セミナー「国連による人権保護メカニズムへの市民社会の参加: ジョン・パチェ氏の『国連人権委員会』出版記念セミナー」2021.1.27, 英語, 総合司会・運営,
- The University of Tokyo Global Praxis (IHL) Special Seminar series #5, International Criminal Court: Its Establishment and Challenges, Judge Hisashi Owada, 2021.1.15, 英語, 総合司会・運営,
- The University of Tokyo Global Praxis (IHL) Special Seminar series #4, Investigating Possible Violations of Human Rights Law: the Case of UN Commissions of Inquiry?, Prof. Francoise Hampson, 2021.1.13, 英語, 総合司会・運営,

I. その他の研究活動

- キハラハント愛, ヒューマニティーズセンター研究プロジェクト「紛争下の性的暴力・搾取の刑事的・内部規律的アカウンタビリティにおける国連とアフリカ連合の連携についての研究, 2020.10.1-2022.3.31, プロジェクトリーダー,
- トヨタ財団 2021 国際助成プログラム, 日本・タイの長所を学び合い、多職種共同でコミュニティヘルスの改善を目指す教育モデルの構築, 2021.11-2023.11, 研究代表,
- オンライン座談会: 国連からアカデミアへ, 持続的平和研究センター国際法ハブ, 2021.8.26, スピーカー,

J. 受賞

- 赤十字国際委員会 (ICRC).2021 年度国際人道法模擬裁判・ロールプレイ大会, 2021.11.27. 2021.12.12, 東京大学チーム・優勝, コーチ,
- 赤十字国際委員会 (ICRC) 国際人道法模擬裁判大会, 赤十字国際委員会・香港大学, 2021.3.11-3.14, アジア太平洋地域大会, 日本チーム・アジア太平洋大会準優勝, コーチ,

木宮正史 (KIMIYA Tadashi)

A. 著書

- 木宮正史. 日韓関係史. p. 248. 岩波書店, 2021.

B. 分担執筆

- 木宮正史. 「地域文化研究専攻」進化の20年. 駒場70年史編集委員会編, 駒場の70年 1949-2020 法人化以降の大学像を求めて, p. 455. pp. 76-79. 東京大学出版会, 2021.
- 木宮正史. 現代日韓関係における和解と正義——日韓関係の事例をふまえて——. 浅野豊美編, 和解学叢書1=原理・方法 和解学の試み——記憶・感情・価値, p. 354. pp. 286-314. 明石書店, 2021.
- 기미야다다시 (木宮正史). 한일 역사 화해를 둘러싼 정치학: 역사 갈등의 억제 메커니즘과 그 기능부전 (韓日歴史和解をめぐる政治学: 歴史葛藤の抑制メカニズムとその機能不全). 양기호, 기미야다다시 편 (梁起豪・木宮正史編). 역사화해를 위한 한일 대화 정치 편 (歴史和解のための韓日対話 政治編). p. 360. pp. 81-133. 東北アジア歴史財団, 2020.
- 기미야다다시 (木宮正史). 일본의 지식인에게 듣는 한일관계와 역사문제 기미야다다시 (日本の知識人に聞く韓日関係と歴史問題 木宮正史). 동북아역사재단 한일역사문제연구소 편 (東北アジア歴史財団韓日歴史問題研究所編). 일본 지식인에게 듣는 한일관계와 역사문제 (日本の知識人に聞く韓日関係と歴史問題). p. 405. pp. 142-163. 東北アジア歴史財団, 2020.

D. 一般学術論文

- 기미야다다시 (木宮正史). 일본의 기시다 정부 출범 이후 한일관계 전망 (日本の岸田政権出帆以後韓日関係の展望). 아시아 브리프 (アジアブリーフ) Current Issues and Policy Implications.1.38. Seoul National University Asia Center. 2021. <http://asiabrief.snu.ac.kr/>.
- KIMIYA,T. The Structural Transformation of South Korea-Japan Relations amid the North Korean Nuclear Crisis and U.S. -China Confrontation. KOREA INSIDE OUT. 2. Seoul National University, Institute of International Affairs.2021. <https://iia.snu.ac.kr/publication/6142c9ef633e51b74b442e1d>.
- 木宮正史. 構造変容に直面し『迷走』する日韓関係——何を目指し、どのように克服するか, 政策オピニオン, 202. 平和政策研究所, 2021. pp. 1-8. https://ippjapan.org/pdf/Opinion202_TKinoshita.pdf.

F. その他の業績

- 木宮正史. 書評. 和田春樹・小森陽一・孫崎享『朝鮮戦争70年「新アジア戦争」時代を越えて』(かもがわ出版, 2020年). 歴史評論, 852. pp. 108-109. 歴史学研究会, 2021.
- 木宮正史. 書評. 外交史の第一人者が紐解く 波多野澄雄『「徴用工」問題とは何か』(中央公論新社, 2020). 公明新聞, 2021.3.8. 公明党.
- 木宮正史. 新聞コラム. [글로벌 In&Out] 文정부의 ‘중전선언’은 北에 주는 선물일까 (글로벌인사이드아웃 文政府の「終戦宣言」は北にあげる贈り物か, ソウル新聞, 2021.12.29.
- 木宮正史. 新聞コラム. [글로벌 In&Out] 일본에서 바라보는 한국 대선 (글로벌인사이드아웃 日本から見る韓国大統領選, 서울신문, 2022.3.10.

- ドアウト 日本から眺める韓国大統領選挙), ソウル新聞, 2021.11.24.
- 木宮正史, 新聞コラム, [글로벌 In&Out] 일본의 리버털과 한일 관계 (글로벌인사이드아웃 日本のリベラルと韓日関係), ソウル新聞, 2021.10.20.
 - 木宮正史, 新聞コラム, [글로벌 In&Out] 일본도 주목해야 할 ‘정치 한류’ 「글로벌인사이드아웃 日本も注目しなければならない「政治韓流」, ソウル新聞, 2021.9.8.
 - 木宮正史, 新聞コラム, [글로벌 In&Out] 문재인 대통령 광복절 연설에 거는 기대 (글로벌인사이드아웃 文在寅大統領光復節演説にける期待), ソウル新聞, 2021.8.4.
 - 木宮正史, 新聞コラム, [글로벌 In&Out] 도쿄올림픽과 일본의 두 모습 (글로벌인사이드아웃 東京オリンピックと日本の二つの姿), ソウル新聞, 2021.6.30.
 - 木宮正史, 新聞コラム, [글로벌 In&Out] 한일 줄다리기보다 협력이 필요한 대북정책 (글로벌인사이드아웃 日韓綱引きよりも協力が必要な対北朝鮮政策), ソウル新聞, 2021.5.26.
 - 木宮正史, 新聞コラム, [글로벌 In&Out] 일본은 오염수 방출, 책임과 의무를 다해야 (「글로벌인사이드아웃 日本は汚染水の放出の責任と義務を尽くさなければ」, ソウル新聞, 2021.4.21.
 - 木宮正史, 新聞コラム, [글로벌 In&Out] 한일은 언제까지 ‘투 트랙’ 공방만 할 텐가 (글로벌인사이드아웃 韓日はいつまで「트ート랙」攻防をしているのか), ソウル新聞, 2021.3.17.
 - 木宮正史, 新聞コラム, [글로벌 In&Out] 역사 문제, 사법은 외교를 넘어설 수 있는가 (글로벌인사이드아웃 歴史問題、司法は外交を越えられるか), ソウル新聞, 2021.2.10.
 - 木宮正史, 新聞コラム, [글로벌 In&Out] 한일, 신냉전에 경쟁적 협력을 (글로벌인사이드아웃 日韓、新冷戦に競争的協力を), ソウル新聞, 2021.1.6.
 - 木宮正史, 岸田内閣の成立と韓日関係に関するインタビュー記事, 東亜日報, 2021.9.30, 聯合ニュース, 2021.10.4, 韓国日報, 2021.10.5, ファイナンシャルニュース, 2021.10.7, (韓国語).
 - 木宮正史, インタビュー記事, 日朝首脳会談 19年 東大大学院 木宮正史教授に聞く, 新潟日報, 2021.9.17.
 - 木宮正史, インタビュー記事, 日本と同じアメリカの同盟国なのに、韓国が中国には「いい顔」を見せる本当の理由, プレジデントオンライン (週刊プレジデント), 2021.8.13.
 - KIMIYA,T. interview “Moon’s Olympic absence points to protracted stalemate with Japan”. The Japan Times, 2021.7.21.
 - 木宮正史, 解説コメント, 韓日、対称的關係に、相当期間、葛藤は持続するだろう, 韓国日報・讀賣新聞日韓共同世論調査結果, 韓国日報, 2021.6.9, (韓国語).
 - 木宮正史, インタビュー記事, 検証: 米韓首脳会談、「韓国は中国チーム入りした」は間違い, 日経ビジネス, 2021.5.26.
 - 木宮正史, 解説コメント, 一転、日本政府の賠償義務なしとしたソウル中央地裁判決, 共同通信配信 北海道新聞 愛媛新聞 熊本日日新聞 など, 2021.4.22.

- 木宮正史. コメント. 文在寅大統領の3・1節演説. ファイナンシャルニュース. 2021.3.2. (韓国語).
- 木宮正史. コメント. 慰安婦に対する日本政府の賠償判決などをめぐる日韓関係. 聯合ニュース. 2021.1.20. (韓国語).
- 木宮正史. コメント. 慰安婦に対する日本政府の賠償判決. 毎日経済新聞. 2021.1.12. (韓国語).
- 木宮正史. 識者談話. ソウル中央地裁による慰安婦に対する日本政府の賠償判決. 共同通信配信 2021.1.8. 長崎新聞, 北海道新聞, 岩手新聞, 中国新聞, 愛媛新聞. 2021.1.9. など.

G. 国際学会

- ポスト安倍時期の韓日関係. 韓国国立外交院日本研究センター・ソウル大学日本研究所. オンライン. 2021.12.15. 招待. 韓国語. 討論者.
- 戦後アジアの地域再編と学術の共同——分断・協調・再分断を超えて——. 日本学術会議地域研究委員会アジアの地域協力と学術ネットワーク構築分科会. オンライン. 2021.12.4. 一般発表. 対称的・相互競争関係下の日韓学術協力の可能性.
- 日韓関係の未来を思考するラウンドテーブル. 戸田国際平和研究所・世宗研究所. オンライン. 2021.9.27. 招待. 日韓同時通訳. 日本側座長モデレーター.
- 韓半島専門家オンライン会議 北朝鮮情勢と日朝関係. 韓国政府統一部. オンライン. 2021.9.14. 招待. 韓国語. 討論者.
- 第9回日韓ジャーナリスト国際シンポジウムウェビナー米中葛藤と対北朝鮮政策、そして危機の日韓関係. 東京大学韓国学術研究センター, 韓日未来フォーラム. オンライン. 2021.9.11. 一般. 非対称な相互補完の関係から対称な相互競争関係へと変容する日韓関係: 歴史問題にどのように取り組むべきか. 日韓同時通訳. 主催者, 報告者, 討論者.
- 2021 Korea Global Forum for Peace: New Vision for Inter-Korean Relations and Community for Peace, Economy and Life of the Korean Peninsula. Ministry of Korean Unification. Online. 2021.8.31–9.2. 招待. The Structural Transformation of South Korea-Japan Relations amid the Intensification of the US-China Strategic Rivalries. 米韓同時通訳. Panelist.
- International Symposium: Discussing Great Transformation in Korea-Japan Relations. The National Research Council of Economics, Humanities and Social Sciences (NRC) Korea. Online. 2021.8.26. 招待. The Structural Transformation of South Korea-Japan Relations amid the US-China Strategic Rivalries and North Korean Nuclear Crisis: What is our choice?. 日英韓同時通訳.
- 日韓専門家懇談会: 米国バイデン政権の対中政策と日韓の対応. Korean Foundation, Tokyo Office, 早稲田大学韓国学術研究センター, 韓国信韓大学校脱分断境界文化研究院. Online. 2021.8.25. 招待. 日韓同時通訳. パネリスト.
- 済州平和フォーラム東アジアの持続可能な平和のための韓日関係再構築. 韓国国立外交院日本研究センター. Online. 2021.6.25. 招待. South Korea-Japan Relations amid the US-China Strategic Rivalry and NK Nuclear Crisis. 日英韓同時通訳.

- 福島原発の処理水・汚染水の海洋放出をめぐる、Korea Peace Foundation, オンライン, 2021.5.13, 招待, 福島放射能処理水・汚染水放出をめぐる日韓関係, 日韓同時通訳.
- 授業「韓国朝鮮文化財」の総括会議, 東京大学韓国学研究所, オンライン, 2021.3.13, 一般, 日韓逐語通訳, 司会, 主催者.
- “2021 年日本の対外政策展望” 専門家懇談会, 韓国国会立法調査処, オンライン, 2021.2.25, 招待, 米中対立構図下, 不透明な朝鮮半島情勢に直面しながらも葛藤に悩む日韓関係, 韓国語, 争点発題者.
- 日本・東アジア専門家フォーラム 米国バイデン政権と日韓関係, 韓国国立外交院日本研究センター, オンライン, 2021.2.22, 招待, 韓国語, 討論者.

H. 国内学会

- 韓日関係フォーラム あすの交流・連携を考える, 駐新潟大韓民国総領事館, 新潟日報メディアシップ日報ホール, 2021.12.3, 招待, 基調講演, 激化する米中対立・持続する北朝鮮核危機の中, 非対称な相互補完的關係から対称な相互競争関係へと変容する日韓関係: 我々を何を考え, どう対応するのか, 新潟日報, 2021.12.16, で紹介.
- 日本アカデミア勉強会, 日本アカデミア, ホテルニューオータニ, 2021.11.30, 招待, 基調講演, 米中対立, 北朝鮮核ミサイル危機の中での日韓関係の構造変容: 非対称的相互補完関係から対称的相互競争関係へ.
- 韓日関係フォーラム 変化する米中関係と韓日・日韓の未来, 駐大阪大韓民国総領事館, ホテルリーガロイヤル大阪, 2021.11.16, 招待, 基調講演, 米中対立の中での韓日関係, 競争的協力の可能性を探る.
- 韓半島を巡る国際情勢の展望——韓日関係における北東アジア平和・安全保障, 在大阪韓国総領事館, 立命館大学東アジア平和協力研究センター, ホテルニューオータニ大阪, 2021.10.12, 招待, 討論者.
- 公開ウェビナー「『20 世紀の東アジア史』から 21 世紀を考える, 日本国際問題研究所, オンライン, 2021.7.18, 招待, 韓国における国家形成とその変容: 脱植民地化をめぐる競争・「企業家的国家」による体制競争・ポスト競争下の「先進国化」.
- 有識者マスコミ懇談会, 平和政策研究所, アルカディア市ヶ谷 (千代田区), オンライン, 2021.5.14, 招待, 構造変容に直面し, 漂流する日韓関係.
- 第 1 回日朝交渉 20 年史検証会議, 日朝国交促進国民協会, オンライン, 2021.4.29, 一般, 主催者, 討論者.
- アジア政経学会第 26 回定例研究会, アジア政経学会, オンライン, 2021.3.13, 一般, 討論者.
- ドイツ統一 30 周年記念連続講義 第 4 回「朝鮮半島の分断と統一の可能性を考える——コロナ禍を踏まえて——」, 立命館大学アジア・日本研究所, オンライン, 2021.2.20, 招待, 討論者.

I. その他の研究活動

- 講演会, 一般社団法人リベラルアーツ講座, オンライン, 2021.12.12, 招待, 日本にとって韓国

は？ 韓国にとって日本は？ 世界にとって日韓は？.

- 講演会, Global Peace Foundation Japan. オンライン, 2021.8.29, 招待, 米中対立、北朝鮮核ミサイル危機の中での日韓関係の構造変容～非対称的相互補完関係から対称的相互競争関係へ～.
- 講演会, Japan in Today's World. The University of Tokyo. オンライン, 2021.7.5, 招待, The Structural Transformation of South Korea-Japan Relations Amid the US-China Strategic Rivalries and the North Korean Nuclear Problem. 英語.
- 講演会, 日韓青年会議, オンライン, 2021.6.13, 招待, 日本にとっての韓国、韓国にとっての日本、世界にとっての日韓.
- 講演会, 朝日カルチャーセンター新宿教室, オンライン, 2021.6.12, 招待, 激動の朝鮮半島情勢と世界.
- 放送出演, NHK ラジオ (総合), 三宅民夫のマイあさ 深よみ「韓国大統領選挙をめぐって」, 2021.12.24.
- 放送出演, BS テレビ東京, 日経日曜サロン, 2021.10.31.
- 放送出演, NHK ラジオ (総合), 三宅民夫のマイあさ 深よみ「北朝鮮の動きから南北・米朝関係を読み解く」, 2021.10.22.
- 放送出演, BS テレビ東京, 日経モーニングプラス FT グローバルアイ韓国大統領選まで半年保守と進歩リベラルの対決の行方, 2021.9.6.
- 放送出演, NHK ラジオ (総合), 三宅民夫のマイあさ 深よみ「“光復節”演説から読み解く日韓関係」, 2021.8.20.
- 放送出演, BS フジテレビプライムニュース, 東京五輪、“竹島・独島問題”再燃？ その根幹は, 2021.7.2.
- 放送出演, NHK ラジオ (総合), 三宅民夫のマイあさ 深よみ「韓国外交から読み解く国際情勢」, 2021.6.11.
- 放送出演, NHK ラジオ (総合), 三宅民夫のマイあさ 深よみ「ソウル・プサン市長選 韓国の今後は」, 2021.4.9.
- 放送出演, BS テレビ東京, 日経モーニングプラス FT 特集「任期残り1年 内憂外患の文在寅政権」, 2021.4.8.
- 放送出演, NHK ラジオ (総合), 三宅民夫のマイあさ 深よみ「文大統領“困惑”発言 日韓関係の今後は？」, 2021.2.5.

斎藤文子 (SAITO Ayako)

F. その他の業績

- 斎藤文子, 紹介文, 国際交流関連施設の紹介, 『教養学部報』, 626, p. 4, 2021.4.1
- 斎藤文子, エッセイ, 『ドン・キホーテ』——境遇も考え方も違う二人が信頼関係を築くにいたる過程を味わう——, 『小学図書館ニュース』, 1229, p. 1, 2021.5.8.

- 斎藤文子, エッセイ, 地域文化研究分科の過去 20 年間の歩み, 駒場 70 年史編集委員会編『駒場の 70 年 1949–2020——法人化以降の大学像を求めて』東京大学出版会, 2021.11, pp. 209–213.

I. その他の活字にならない研究活動

- セルバンテス・アカデミーフォーラム, 『ドン・キホーテを探す 3 人の記者たち』インスティトゥート・セルバンテス (東京), 2021.9.29, 企画, 座談会司会.

佐藤安信 (SATO Yasunobu)

B. 分担執筆

- 佐藤安信, 2021 「難民に関するグローバル・コンパクト」のためのネットワーク・ガバナンス: 難民の国際保護に関するアジア・ネットワークの可能性『国際関係と国際法』小和田恒国際司法裁判所裁判所裁判官退官記念, 信山社, pp. 101–125.
- 佐藤安信 編著, 10 月『アジアからの「ビジネスと人権」の主体的な取組を促す企業における「人間の安全保障」インデックス (CHSI) プロジェクト報告書』持続的平和研究センター.

C. レフェリー付き学術論文

- Yasunobu Sato, Ai Kihara-Hunt and Yuichi Sekiya 2021 ‘Conclusion’, *Journal on Human Security Studies, Special Issue: Refugees/Migrants and Work and Education*.

D. 一般学術論文

- 佐藤安信, 2021 ベトナム商事仲裁法、民事訴訟法の課題: 外国仲裁人への損害賠償請求訴訟の事例から 仲裁・ADR フォーラム vol.7, p. 86–98.

G. 国際学会

- 2 月 22 日 (月), SDG 時代の市民社会を通じたカンボジアへの協力～コロナと米中新冷戦下の日本の役割: 農村の「草の根民主主義」支援の可能性～: <https://rcsp.c.u-tokyo.ac.jp/blog/detail/320>, カンボジア市民フォーラムと共催, 日本外務省, 国連フォーラム後援.
- GraSPP Research Seminar & HSP Seminar (Tuesday, March 16, 2021) — Joint Online Event — “The Roles and Responsibilities of IFIs beyond COVID-19 — AIIB’s Innovative Features in Governance and International Standards”: <https://rcsp.c.u-tokyo.ac.jp/blog/detail/317>.
- HSP 春季シンポジウム「ミャンマーにおける人間の安全保障——COVID-19 の影響と日本の役割——」: <https://rcsp.c.u-tokyo.ac.jp/blog/detail/309>. 主催: 東京大学大学院総合文化研究科「人間の安全保障」プログラム (HSP), 持続的平和研究センター (RCSP)、持続的開発研究センター (IAGS), グローバル地域研究機構 (IAGS), 東京大学総合文化研究科. 共催: グローバル地域研究機構 (IAGS), グローバル・スタディーズ・イニシアティブ (GSI), グローバル地域研究機構 (IAGS), グローバル・スタディーズ・イニシアティブ (GSI), 東京大学. 後援: 人間の安全保障学会, 国際開発学会, 国際開発研究者協会 (SRID), アジア国際法学会日本協会, アジア国際法学会.

H. 国内学会

- 2020年3月24日(水) 16:00-18:00. 企業における「人間の安全保障」インデックス(CHSI)策定に向けて: CHSI プロジェクト中間報告会: <https://rcsp.c.u-tokyo.ac.jp/blog/detail/316>. ビジネスと人権ローヤーズネットワークとの共催.

I. その他の研究活動

- 佐藤安信, 「人間の安全保障」プログラム(HSP)・グローバル地域研究機構持続的平和研究センター長としての研究活動(科学研究費補助金基盤Aの東アジアにおける正義のためのアクセスのためのネットワークガバナンスの検証).

菅 豊 (SUGA Yutaka)

A. 著書

- 菅豊, 『鷹将軍と鶴の味噌汁——江戸の鳥の美食学』, p. 285. 講談社, 2021.
- 福田亜細男, 菅豊, 塚原伸治, 『超越 20世紀民俗学——対話福田亜細男』, 陳志勤, 趙彦民, 彭偉文(訳), p. 150. 山東画報出版社, 2021.

B. 分担執筆

- 菅豊, 災禍のパブリック・ヒストリーの災禍——東日本大震災・原子力災害伝承館の「語りの制限」事件から考える「共有された権限(shared authority)」, 標葉隆馬(編), 『災禍をめぐる記憶と語り』, p. 448. pp. 113-152. ナカニシヤ出版, 2021.

D. 一般学術論文

- 菅豊, コメント 近世・近代移行期の歴史をもつれあい, 『人民の歴史学』 229, pp. 25-30. 東京歴史科学研究会, 2021.
- 菅豊, 地方創生と「新しい野の学問」としての地域学, 『学術の動向』 26.2, pp. 26-30. 日本学術会議, 2021.

G. 国際学会

- 4 研究所合同シンポジウム「アジアの災害／Disaster in Asia」, 成均館大学東アジア学術院, 延世大学国学研究院, 京都大学人文科学研究所, 東京大学東洋文化研究所, 2021.1.26. 招待講演, 災禍のなかのパブリック・ヒストリー-재해 속의 공공역사 public history.
- 人文東亞研究工作坊・第十期“共有資源: 民俗學視野下的東亞社會”, 山東大学哲社学院人文東亞研究中心, 山東大學民俗學研究所, オンライン, 2021.4.16. 招待講演, 探討中日民俗学中“共有資源論”的可能性.
- 동아시아의 문화유산과 일상의 정치학(東アジアにおける文化遺産と日常のポリティクス), 韓国實踐民俗學會, 國立民俗博物館, オンライン, 2021.8.21. 招待講演, 중국의 ‘유산’ 정책과 현실의 상극: 유네스코에서 ‘전통의 담당자’까지(中国における「遺産」政策と現実との相克——ユネスコから「伝統の担い手」まで——).
- 国際シンポジウム: 21世紀の中日民俗学への展望, 東南大学外国語学院, オンライン, 2021.9.25. 招待講演, 民俗学の喜劇——“低微(humble)”な学問の可能性——.

- 2021 年非遺傳承與現代生活 (国際) 学術検討会, 浙江師範大学, 浙江省民俗文化促進会, 浙江師範大学郷村振興研究院, オンライン, 2021.10.16, 招待講演, UNESCO 的無形文化遺産制度能保護文化多様性嗎? —— 全球化時代普遍価値與地方性価値の相克.

H. 国内学会

- 日本村落研究学会関東地区研究会, 日本村落研究学会, オンライン, 2021.3.20, 招待講演, パブリック・ヒストリーとは何か?.
- 俯瞰ワークショップ: 文理融合研究のあり方とその推進方策〜持続可能な資源管理に関する研究開発領域を例として〜, 国立研究開発法人科学技術振興機構 研究開発戦略センター 環境・エネルギーユニット, オンライン, 2021.9.9, 招待講演, 文理融合 (協働) 研究プロジェクトの困難さ.
- 現代民俗学会第 50 回研究会「民俗学の論点 2020」, 現代民俗学会, オンライン, 2020.10.25, 招待講演, 民俗学をもっとひらこう.
- 2021 年度 KU-ORCAS 研究集会「日本におけるパブリック・ヒューマニティーズ／公共人文学の現在地」, 関西大学アジア・オープン・リサーチセンター, オンライン, 2021.11.12, 招待講演, パブリック・フォークロアとはなにか? —— その可能性と課題 ——.

杉山清彦 (SUGIYAMA Kiyohiko)

B. 分担執筆

- 杉山清彦, 大清帝国の王権と君主位——マンジュ王権としての一試論, 伊東貴之 (編), 『東アジアの王権と秩序——思想・宗教・儀礼を中心として——』, p. 948, pp. 571–585, 汲古書院, 2021.
- 森正夫・狭間直樹・岩井茂樹・杉山清彦・岸本美緒 (共著), 第 1 章, 胡祥雨 (主編), 『清史研究百年学術史: 海外研究巻』, p. 489, pp. 16–105, 中国人民大学出版社 (中国・北京), 2021.

C. レフェリー付き学術論文

- 杉山清彦, 複合国家としての大清帝国——マンジュ (満洲) による集塊とその構造——, 『歴史学研究』, 1007 (増刊号), pp. 148–156, 2021.

F. その他の業績

- 杉山清彦, コロナ禍 VS 東大 Now 第 13 回／コロナ禍下の学生生活の砦・学生相談所, 『学内広報』, 1553, p. 11, 東京大学広報室, 2021.
- 杉山清彦, コロナ禍 VS 東大 Now 第 12 回／ワクチン大作戦! 大学拠点接種プロジェクト, 『学内広報』, 1552, p. 11, 東京大学広報室, 2021.
- 杉山清彦, コロナ禍 VS 東大 Now 第 11 回／コロナ禍下の学生宿舎・三鷹寮の現在, 『学内広報』, 1551, p. 27, 東京大学広報室, 2021.
- 杉山清彦, コロナ禍 VS 東大 Now 第 10 回／キャンパスの安全を守れ! 入構管理の取り組み, 『学内広報』, 1550, p. 11, 東京大学広報室, 2021.
- 杉山清彦, コロナ禍 VS 東大 Now 第 9 回／「学びを止めるな!」総合図書館の取り組み, 『学

内広報』, 1549, p. 11, 東京大学広報室, 2021.

- 杉山清彦, コロナ禍 VS 東大 Now 第 8 回／コロナ禍下の授業グッドプラクティス総長表彰, 『学内広報』, 1548, p. 19, 東京大学広報室, 2021.
- 杉山清彦, コロナ禍 VS 東大 Now 第 7 回／「学びを止めるな！」修学のための緊急学生支援, 『学内広報』, 1547, p. 11, 東京大学広報室, 2021.
- 杉山清彦, コロナ禍 VS 東大 Now 第 6 回／前期課程にみる対面授業×オンライン授業, 『学内広報』, 1546, p. 27, 東京大学広報室, 2021.
- 杉山清彦, コロナ禍 VS 東大 Now 第 5 回／コロナ禍下の各キャンパスのアクティビティ, 『学内広報』, 1545, p. 35, 東京大学広報室, 2021.
- 杉山清彦, コロナ禍 VS 東大 Now 第 4 回／コロナ禍下のキャンパス内のアクティビティ, 『学内広報』, 1544, p. 11, 東京大学広報室, 2021.
- 杉山清彦, コロナ禍 VS 東大 Now 第 3 回／コロナ禍下の研究・教育のアクティビティ, 『学内広報』, 1543, p. 11, 東京大学広報室, 2021.
- 杉山清彦, コロナ禍 VS 東大 Now 第 2 回／東大の感染者発生状況の推移, 『学内広報』, 1542, p. 11, 東京大学広報室, 2021.
- 杉山清彦, 編集協力, 岡崎礼奈・児玉真起子・篠木由喜(編著)『時空をこえる本の旅 27 大清帝国展完全版』, p. 33, 公益財団法人東洋文庫, 2021.

G. 国際学会

- The 1st International Conference of the Institute of Humanities Korea Plus at Dongguk University: The Dynamics of East Eurasian Material and Culture. 東国大学校(韓国), オンライン開催, 2021.12.4, 招待講演, 中央ユーラシアと東部ユーラシア: 方法としての地域、舞台としての地域.

H. 国内学会

- 第 71 回日本西洋史学会大会, 小シンポジウムⅢ「「礫岩のような国家」に見る「主権」理解の批判的再構築」, オンライン開催, 2021.5.16, コメント, コメント——「中国史」と中央ユーラシア史の視点から——.

I. その他の研究活動

- (講演) 令和 3 年度東大講演会, 福岡県立修猷館高等学校, 福岡県福岡市, 2021.12.4, 歴史という物差しを持つ——大学での学び、大学への学び——.
- (講演) 令和 3 年冬学期「高校生と大学生のための金曜特別講座」第 7 回, オンライン開催, 2021.11.5, 世界史を中央ユーラシアから見る.
- (プロット執筆・監修) 羽田正(監修)『世界の歴史』(角川まんが学習シリーズ) KADOKAWA, 第 6 巻第 1・2 章, 第 7 巻第 1 章(小澤一郎氏と共同), 第 8 巻第 3 章, 第 10 巻第 4 章担当, 2021.

高橋英海(TAKAHASHI Hidemi)

B. 分担執筆

- Takahashi, H. Syriac Manuscripts in the Nakanishi Collection, National Museum of Ethnology, Osaka, Japan. Simon Brelaud, Jimmy Daccache, Muriel Debié, Margherita Farina & Émilie Villey (dir.). *Le calame et le ciseau : colophons syriaques offerts à Françoise Briquel Chatonnet* (Cahiers d'études syriaques 8). p. 563. pp. 255–276. Paris: Geuthner. 2021.

G. 国際学会

- Takahashi, H. Digitale Ringvorlesung: Byzanz Global: Geschichte und Kultur des Byzantinischen Reiches im welthistorischer Perspektive. Abteilung Byzantinistik am Institut für Altertumskunde der Universität Köln. 2021.6.17. 招待講演. The Role of Syriac in the Eastward Transmission of Greek/Byzantine Culture and Knowledge. 英語.

高山大毅 (TAKAYAMA Daiki)

F. その他の業績

- 高山大毅. 教科書項目執筆. 野口雅弘, 山本圭, 高山裕二 (編著) 『よくわかる政治思想』. pp. 174–175. ミネルヴァ書房. 2021.
- 高山大毅. エッセイ. 「接人」のその後. 『UP』. 50.10. 東京大学出版会. 2021.

竹村文彦 (TAKEMURA Fumihiko)

B. 分担執筆

- 竹村文彦. 怪物の内臓を腑分けする——キューバの独立運動家ホセ・マルティの「反米」——. 遠藤泰生 (編). 『反米 共生の代償か, 闘争の胎動か』. p. 319. pp. 183–211. 東京大学出版会. 2021. (地域文化研究専攻紀要『ODYSSEUS』の第19号(2015)に同じ題名で発表した論文に加筆修正を加えたもの).

F. その他の業績

- 竹村文彦. エッセイ. 歓待の心と鷹揚さ——遠藤泰生さんを送る——. 『ODYSSEUS』. 25. pp. 167–169. 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻. 2021.

H. 国内学会

- 東京大学アメリカ太平洋地域研究センター (CPAS) 公開シンポジウム「遠藤泰生 (編) 『反米 共生の代償か, 闘争の胎動か』 合評会」. オンライン開催. 2020.9.18. パネル報告へのコメント.

伊達聖伸 (DATE Kiyonobu)

B. 分担執筆

- 伊達聖伸. 宗教的／世俗的ディストピアとユマニズム. 東京大学藝文書院 (編). 『私たちはどのような世界を想像すべきか』. p. 357. pp. 237–267. トランスビュー. 2021.
- 伊達聖伸. 宗教との共生のために——フランスのライシテの問題点と可能性. 藤山知彦 (編). 『規範としての民主主義・市場原理・科学技術——現代のリベラルアーツを考える』. p. xv+358.

東京大学出版会, 2021.

- 伊達聖伸. ライシテの国のアンティゴネー——〈他者〉のゆくえ. 小川公代・吉村和明 (編). 『文学とアダプテーション II ヨーロッパの古典を読む』. p. 503+xv. pp. 225–250. 春風社, 2021.
- 伊達聖伸／アプデヌール・ビダール (編). 『世俗の彼方のスピリチュアリティ』. p. xv+269+6. 東京大学出版会, 2021.

D. 一般学術論文

- 伊達聖伸. 「小国」論試論——近現代日本の「宗教」と「世俗」の観点から普遍を求めて. 『Odysseus』. 25 (2020 年度). pp. 45–65. 2021.
- 伊達聖伸. フランスのライシテを世界史に向けて語る——日本の政教関係と日露戦争との同時代性に注目して. 『日仏文化』90 号. pp. 46–60. 2021.

E. 翻訳

- 伊達聖伸, 田中浩喜 (訳). ジャン・ボベロ, ラファエル・リオジエ (著). 『〈聖なる〉医療——フランスにおける病院のライシテ』. p. vii+288. (全ページ共訳). 勁草書房, 2021.
- 伊達聖伸 (訳). ラファエル・リオジエ (著). 『男性性の探究』. p. 169. 講談社, 2021.
- 伊達聖伸 (訳). ジャン＝ルイ・シュレゲル (著). コロナウイルス時代の宗教. 西山雄二 (編) 『いま言葉で息をするために』. p. xxv+306. pp. 248–270. 勁草書房, 2021.

F. その他の業績

- 伊達聖伸. 書評. 土居義岳 『建築の聖なるもの——宗教と近代建築の精神史』 東京大学出版会, 2020 年. 『宗教研究』. 400. pp. 205–212. 2021.
- DATE Kiyonobu. Note de lecture. Lucia Ferretti et François Rocher (dir.), *Les enjeux d'un Québec laïque. La loi 21 en perspective*, Montréal, Del Busso éditeur, 2020, 300p. et Leila Celis, Dia Dabby, Dominique Leydet et Vincent Romani (dir.), *Modération ou extrémisme ? Regards critiques sur la loi 21*, Québec, Presses de l'Université Laval, 2020, 257p. *Bulletin d'histoire politique*. Vol. 29. n° 3. pp. 224–229. 2021.
- 伊達聖伸. コラム. フランスにおけるオーウェル『一九八四年』の受容. ブアレム・サンサール『二〇八四年——世界の終わり』. 秦邦生 (編) 『ジョージ・オーウェル『一九八四年』を読む——ディストピアからポスト・トゥルースまで』. p. 314. pp. 113–116, 241–244. 水声社, 2021.
- 伊達聖伸. コラム. 現代フランスの神々. 『ふらんす』. pp. 12–14. 2021.7.
- 伊達聖伸. コラム. フランス初の女性イマーム——男女平等イスラーム目指す. 『中外日報』時事評論. 2021.5.14.
- 伊達聖伸. コラム. Can we celebrate? 東京 2020 五輪は祝福されるか. 『中外日報』時事評論. 2021.7.30.
- 伊達聖伸. コラム. 仏カトリック教会と性暴力——制度改革に着手できるか. 『中外日報』時事評論. 2021.10.22.

G. 国際学会

- International Society for the Sociology of Religion 36th Conference. オンライン. 2021.7.15. 一般発表.

National Body of Modern Japan between the Religious and the Secular: From a Viewpoint of the Study on French Secularism (*laïcité*). 英語.

- GSI Caravan Workshop. Small nations in Quebec and Asia: A Comparative Perspective. ラヴァル大学 (ハイブリッド). Quebec. 2021.11.26. 招待講演. Comparing small nations in different contexts: Quebec and Japan. 英語. 組織委員.

H. 国内学会

- 静岡大学翻訳文化研究会. オンライン. 2021.3.11. カタストロフの時代と『ヴェールを被ったアンティゴネー』.
- 日本宗教学会. 関西大学 (オンライン). 2021.9.8. 現代フランス社会とカトリック聖職者による性暴力の問題.

I. その他の研究活動

- 「書物復権によせて」 書物復権 2021. 2021.4.
- 「小国の経験から普遍を問い直す」 2021.3.29. 2020 年度 GSI キャラバン研究報告会.
- 「「宗教的なもの」から広がるもうひとつのグローバル・スタディーズ」 東京大学グローバル・スタディーズ・イニシアティヴ・セミナー. オンライン. 2021.5.18.
- 「ケベックの「静かな革命」はカサノヴァの公共宗教論で読み解けるか」『近現代の公共宗教』再読. 東京大学藝文書院. オンライン. 2021.11.1.

田中 創 (TANAKA Hajime)

B. 分担執筆

- 田中創. ローマ帝国時代の文化交流. 大黒俊二, 林佳世子 (責任編集). 『ローマ帝国と西アジア 前 3〜7 世紀』〈岩波講座世界歴史 3〉. p. 306. pp. 205–225. 岩波書店. 2021.
- Tanaka, H. Transmission of Council Documents: A Case of the Fourth-Century Antiochene Church. Suto, Y. (ed.). *Transmission and Organization of Knowledge in the Ancient Mediterranean World*. p. 295. pp. 275–287. Phoibos Verlag. 2021.

E. 翻訳

- 田中創. ユースティニアヌス『法学提要』(1). 『ローマ法雑誌』. 2. pp. 222-303. 日本ローマ法研究会. 2021.

F. その他の業績

- 田中創 (共著). コラム・Q&A コーナー. 「ローマ皇帝」のラテン語とギリシア語表記と意味、及び日本語への訳し方について. 日本西洋古典学会ホームページ (<https://clsoc.jp/QA/2021/20211125.html>). 2021.11.25.
- 田中創. 西洋古典叢書 書簡集 2. UTokyo BiblioPlaza 東京大学教員の著作を著者自らが語る広場 (https://www.u-tokyo.ac.jp/biblioplaza/ja/F_000135.html). 2020.

I. その他の活字にならない研究活動

- 科研「東アジア史における「古代末期」の研究」共同研究会，オンライン開催，2021.4.25，招待講演，田中創『ローマ史再考：なぜ「首都」コンスタンティノープルが生まれたのか』合評会。

谷垣真理子 (TANIGAKI Mariko)

B. 分担執筆

- Tanigaki,M. Anglo-Chinese Studies in Post-WWII Hong Kong: The Perspective of Colonial Languages. Shih,C., Manomaivibool, P., Tanigaki,M., Swaran,S. (eds.). *Colonial Legacies and Contemporary Studies of China and Chineseness : Unlearning Binaries, Strategizing Self*. p. 429. pp. 165–191. World Scientific. 2020.

D. 一般学術論文

- 谷垣真理子，香港の1980年代区議会選挙と1970年代学生運動，『Odysseus』，25，pp. 67–86，東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻紀要，2021。

F. その他の業績

- 谷垣真理子，解説，「国安法」から1年、深まる沈黙，『週刊金曜日』，2021.7.9 (1336)，pp. 30–31，株式会社金曜日，2021。

G. 国際学会

- 中国大陸事務学会，Workshop on Micro Intellectual History through De-central Lenses for Studies of China and Chineseness Since the End of the Cultural Revolution. 2021. 中国大陸事務学会，国立台湾大学（台北）（オンライン開催），2021.2.27，一般発表，Hong Kong, a China watching base with diversity. 英語，座長。

H. 国内学会

- 東京大学総合文化研究科地域文化研究専攻，第29回地域文化研究専攻シンポジウム いま「暴力」を考え，2021，オンライン開催，2021.6.26，一般発表，「見える」暴力と「見えない」暴力——2019年大規模抗議活動以降の香港。
- 日本移民学会，第30／31回年次大会，2021，日本移民学会，東京大学総合文化研究科（オンライン開催），2021.6.19–6.20，ラウンドテーブル「人びとの帰還／移動／再移動」のコメント。

I. その他の活字にならない研究活動

- 谷垣真理子，講演，吉祥寺東コミュニティ協議会，2021.6.5，アジアを知ろう：香港特別編 第1回「国安法下の香港」，東京吉祥寺東コミュニティセンター九浦の家。

田原史起 (TAHARA Fumiki)

B. 分担執筆

- 田原史起，作为“资源”的人民公社时代：甘肃麦村的“集体”记忆，公益財団法人东洋文库超域亚洲研究部门现代中国研究班主任，『集体化时代的中国：日中共同研究』，东京：东洋文库，pp.

561–588, 2021.

D. 一般学術論文

- Tahara, Fumiki and Laxman Vare. Caste Composition in a Telangana Village, South India: Segmentation and Interdependence. *ODYSSEUS* (Bulletin of Department of Area Studies, Graduate School of Arts and Sciences, The University of Tokyo). 25. pp. 87–110. 2021.

F. その他の業績

- 田原史起. 第32回アジア・太平洋賞受賞スピーチ. 『アジア時報』. 563. pp. 12–14. 2021.
- 田原史起. エッセー. 現場・出来事・比較——駒場と『草の根の中国』の20年. 『教養学部報』. 625. pp. 4–5. 2021.
- 田原史起. 書評. 山田七絵著『現代中国の農村発展と資源管理——村による集団所有と経営』. 『社会経済史学』87.2. pp. 124–126. 2021.
- 田原史起. インタビュー記事. 中国『脱貧困』は本当か：農村調査20年の東大教授語る. 『朝日新聞 DIGITAL』(https://digital.asahi.com/articles/ASP4H3SR0P4DUHBI00L.html?iref=pc_ss_date_article). 2021.4.16. 2021.

H. 国内学会

- 田原史起. 人材流出と資源獲得：貴州石村の村落ガバナンス. 南山大学アジア・太平洋研究センター主催・総合政策学部共催講演会. シリーズ「中国と向き合う」第3回. 2021.12.2. オンライン. 2021.

張 政遠 (CHEUNG Ching Yuen)

B. 分担執筆

- 張政遠. 30年後の被災地、そして香港. 東京大学藝文書院 (編). 『私たちはどのような世界を想像すべきか』. pp. 179–209. トランスビュー. 2021.

C. レフェリー付き学術論文

- 張政遠. 何謂實存：九鬼周造の實存哲學. 《現代哲學》, 4. pp. 83–90. 2021.

D. 一般学術論文

- 張政遠. 道の研究——わき道・被災した道・巡礼の道. 『石牟礼道子を読む——世界をひらく／漂浪く』, EAAブックレット, pp. 3–17. 2021.
- 張政遠. 天災と人禍をわすれないために. 『感染症：歴史と物語とのはざままで』, EAAブックレット, pp. 49–65. 2021.

E. 翻訳

- CHEUNG Ching-yuen (訳). FUJITA Masakatsu (著). Hung Yao-hsün and Japanese Philosophy. *Journal of Japanese Philosophy*, 7. pp. 3–21. 2021.

F. その他の業績

- 張政遠. 書評：廖欽彬『近代日本哲学中的田辺元哲学』. 『日本研究』. 63. pp. 197–200. 2021.

G. 国際学会

- CHEUNG Ching-yuen. Introduction: Wu5, The Hanging of the Crown. Annual Conference of International Association for Japanese Philosophy (online), 15.3.2021. 英語. 組織委員.
- CHEUNG Ching-yuen. Ressentiment and Love. International Conference: Emotion and Feeling in Japanese Philosophy (online), 25.4.2021. 英語.
- 張政遠. 理論與實踐——香港中文大學與東京大學的通識教育. 元培峰會 (online), 17.7.2021. 中国語.
- 張政遠. 危機と哲学. 田辺元没後六十周年記念シンポジウム (パネル: 田辺哲学の現代的意義——コロナ時代に向けて) (online), 4.9.2021. 日本語.
- 張政遠. 井上哲次郎與東亞哲學的起源. 井上哲次郎的儒學研究與近代日本學術生態研討會 (online), 16.10.2021. 中国語.
- CHEUNG Ching-yuen. Miki Kiyoshi and the Philippines. International Society of East Asian Philosophy Conference (online). 11.12.2021. 英語.

H. 国内学会

- 東アジア災害人文学の構築研究会. 京都大学 (オンライン). 24.7.2021. 巡礼・風土・物語・災害——哲学の民俗学的転向.

I. その他の研究活動

- 唐君毅與新亞書院. EAA シンポジウム. 書院作為哲学. オンライン. 20.2.2021.
- 人はなぜ故郷を戻らないのか, 市民向け公開シンポジウム: 大震災と復興の行方. オンライン. March 2021.
- トランスユーラシアの言語拡散と東北アジアの農耕民移住——「三角測量」の死角と民俗学の視点. EAA オンラインワークショップ. 17.12.2021.

筒井賢治 (TSUTSUI Kenji)

土屋和代 (TSUCHIYA Kazuyo)

B. 分担執筆

- 土屋和代. 「誰のための民主主義か」——ロスアンジェルスにおける長い黒人自由闘争とシャーロット・バス. 岩本裕子, 西崎緑 (編). 『自由と解放を求める人びと——アメリカ黒人の闘争と多面的な連携の歴史』, p. 271. pp. 89–112, 114, 120. 彩流社. 2021.

D. 一般学術論文

- 土屋和代. ブラック・ライヴズ・マター運動と岐路に立つアメリカ社会——1992年ロスアンジェルス蜂起から考える. 『アメリカ太平洋研究』, 21. pp. 7–19. 2021.
- 土屋和代. 全米福祉権団体の解体——体系的人種主義、ジェンダー、反福祉のイデオロギー. 『アメリカ研究』, 55. pp. 75–95. 2021.

F. その他の業績

- 土屋和代. 項目執筆. 第1次ニューディール, 第2次ニューディール, 「偉大な社会」, クリントン政権下の「福祉改革」, 「格差社会」アメリカ. 梅崎透, 坂下史子, 宮田伊知郎(編). 『よくわかるアメリカの歴史』. p. 202. pp. 106–108, 130–131, 164–165, 170–171. ミネルヴァ書房. 2021.
- 土屋和代. コラム. 黒人自由闘争、労働運動、移民の権利擁護、女性解放運動と〈知〉——社会研究調査のための南カリフォルニア図書館. 岩本裕子、西崎緑(編). 『自由と解放を求める人びと——アメリカ黒人の闘争と多面的な連携の歴史』. p. 271. pp. 112–114. 彩流社. 2021.

H. 国内学会

- 土屋和代. 同志社大学アメリカ研究所秋季公開講演会. ブラック・フェミニズムの歴史とインターセクショナリティ. オンライン開催(同志社大学). 2021.11.5. 一般発表. 報告.
- 土屋和代. ジェンダー史学会第18回年次大会シンポジウム. 貧困とジェンダー——「公助」の役割を問う. オンライン開催(同志社大学). 2021.12.12. 一般発表. 司会.

I. その他の活字にならない研究活動

- 日本アメリカ史学会運営副代表(2021.9～).
- ジェンダー史学会常任理事, 大会企画委員(2020.12～).

鶴見太郎 (TSURUMI Taro)

A. 著書(共編著)

- Moss, K. B., Nathans, B., and Tsurumi, T. *From Europe's East to the Middle East: Israel's Russian and Polish Lineages*. p. 396. University of Pennsylvania Press. 2021.

B. 分担執筆

- Moss, K. B., Nathans, B., and Tsurumi, T. Introduction. Moss, K. B., Nathans, B., and Tsurumi, T. *From Europe's East to the Middle East: Israel's Russian and Polish Lineages*. p. 396. pp. 1–15. University of Pennsylvania Press. 2021.
- Tsurumi, T. From Hyphenated Jews to Independent Jews: The Collapse of the Russian Empire and the Change in the Relationship between Jews and Others. Moss, K. B., Nathans, B., and Tsurumi, T. *From Europe's East to the Middle East: Israel's Russian and Polish Lineages*. p. 396. pp. 45–69. University of Pennsylvania Press. 2021.

G. 国際学会

- Association for the Study of Nationalities World Convention. Association for the Study of Nationalities. Online (hosted by Columbia University, New York). 2021年5月7日. Reciprocity between Different Ethnic Aspects in the Self: Russian Jews and Dual Nationalism around the Revolution. 英語.

H. 国内学会

- 日本移民学会第30／31回年次大会. 日本移民学会. オンライン(東京大学主催). 2021年6月19日. コメント(シンポジウム: 人びとの帰還／移動／再移動を考える).

- 日本社会学会第 94 回大会，日本社会学会，オンライン（東京都立大学主催），2021 年 11 月 13 日，解釈する記憶——ロシア帝国における暴力の記憶がパレスチナへ転移するとき，

外村 大 (TONOMURA Masaru)

B. 分担執筆

- 外村大，歴史問題における和解と市民運動——その研究の課題と展望，浅野豊美（編），『和解学の試み——記憶・感情・価値』，p. 354，pp. 166–195，明石書店，2021，
- 外村大，強制連行に向きあった市民と『望恨歌』，野村伸一・竹内光浩・保立道久（編），『能楽の源流を東アジアに問う 多田富雄『望恨歌』から世阿弥以前へ』，p. 304，pp. 141–164，風響社，2021，

D. 一般学術論文

- 外村大，日本における安重根への関心と評価——強権的帝国主義批判とその思想的継承——，『社会科学研究年報』，51，pp. 121–132，龍谷大学社会科学研究所，2021，

F. その他の業績

- 外村大，講演記録，20 世紀前半の日本の演劇と朝鮮・朝鮮人，国際演劇交流セミナー 2020 年鑑，p. 308，pp. 55–68，一般社団法人日本演出者協会，2021，
- 外村大，エッセイ，歴史紛争のもと？ 世界遺産から考える，教養学部報第 631 号，3 面，東京大学教養学部教養学部報編集委員会，2021，

G. 国際学会

- 「季刊三千里解題集」刊行記念 [国際学術会議] ‘在日・ザイニチ’ が問う定住・国民・国家，翰林大学日本研究所，韓国江原道春川市・翰林大学，オンライン開催，2021.3.27，一般発表，歴史としての「季刊三千里」：時代の規定性と現状変革の模索，
- 第 10 回日韓文化財専門家セミナー，韓国ソウル市，オンライン開催，2021.8.13，一般発表，韓国文化財をめぐる授業とその教育効果——東京大学大学院の実践の事例報告——，
- 韓国日本近代学会第 43 回国際学術大会，韓国釜山市東義大学校，オンライン開催，2021.11.6，招待講演，在日コリアンへの差別——その変化と要因、根絶のために——，

H. 国内学会

- 3・1 朝鮮独立運動 102 周年 東京集会，「3・1 朝鮮独立運動」日本ネットワーク，オンライン開催，2021.2.27，招待講演，3・1 運動を記念する意義と方法——歴史喪失に抗して，
- 在日コリアンの歴史 今学すべきこと講演会，日本・コリア・在日をつなぐ相模原の会，相模原市，2021.9.25，招待講演，在日コリアンの歴史 今学すべきこと，
- 天籟能の会 第 2 回ワークショップ，天籟能の会，東京都渋谷区梅若万三郎家舞台，2021.10.19，招待講演，朝鮮植民地支配の史実と『望恨歌』，

中尾まさみ (NAKAO Masami)

B. 分担執筆

- 中尾まさみ, 変化と改革の日々——前期英語教育 2001–2020, 駒場 70 年史編集委員会 (編), 『駒場の 70 年 1949–2020——法人化以降の大学像を求めて』, p. 468, pp. 142–144, 東京大学出版会, 2021 年.

D. 一般学術論文

- 中尾まさみ, 窓辺の詩人たち——イエイツとヒーニーの詩的自画像を読む, 『イエイツ研究』, 51, pp. 3–23, 日本イエイツ協会, 2021.

F. その他の業績

- 中尾まさみ, エッセイ, 駒場をあとに——三層の甘いケーキと渋めのお茶, 『教養学部報』, 632, p. 3, 2021.

H. 国内学会

- 日本イエイツ協会第 57 回大会, 日本イエイツ協会, オンライン, 2021.11.14, 「ともに食卓を囲むことの叶わぬ友人たち」——イエイツとヒーニーのエレジーをめぐって, (シンポジウム「イエイツの価値を問い直す——詩人と続く世代との対話を手がかりに——」), 一般発表.

中野耕太郎 (NAKANO Kotaro)

F. その他の業績

- 中野耕太郎, コメント 歴史のなかの分断・分極化——2020 年のアメリカを考える, 特集「分断のアメリカを展望する」, 『アメリカ太平洋研究』Vol. 21, 43–53 頁, 2021 年 3 月.
- 中野耕太郎, インタビュー記事, 「ミレニアル・Z 世代が支持, 『大きな政府』の米国史——東京大学・中野教授に聞くアメリカ史 (前編)」, 『東洋経済オンライン』(2021 年 12 月 28 日).
- 中野耕太郎, インタビュー記事, 左傾化する若者『ジェネレーションレフト』の祖先——東京大学・中野教授に聞くアメリカ史 (後編), 『東洋経済オンライン』(2021 年 12 月 30 日).

H. 国内学会

- 中野耕太郎, コメント: グローバル化の進行と地域研究の未来, 南山大学国際地域文化研究科 FD シンポジウム, オンライン, 2021 年 1 月 22 日, 招待, パネル報告へのコメント.
- 中野耕太郎, 丸山実里「第一次世界大戦期アメリカにおける「敵性外国人登録」とドイツ系——カンザス州を事例に」へのコメント, 日本アメリカ史学会第 50 回例会 修士論文報告会, オンライン, 2021 年 4 月 24 日, 招待, パネル報告へのコメント.
- 中野耕太郎, 著者による講演, 「岩波新書〈シリーズ アメリカ合衆国史〉合評会 第 3 回 20 世紀アメリカの夢——世紀転換期から 1970 年代」南山大学アメリカ研究センター, オンライン, 2021 年 6 月 26 日, 招待講演.
- 中野耕太郎, デイスインフォメーション——分裂するアメリカの過去・現在・未来, 京大人文研共同研究班「21 世紀の人文科学」, オンライン, 2021 年 7 月 31 日, 招待講演.

- 中野耕太郎, 司会, 合評会「グローバル化する反米——遠藤泰生編『反米 共生の代償か、闘争の胎動か』(東京大学出版会, 2021 年)」, CPAS セミナー Globalizing American Studies, 東京大学アメリカ太平洋地域研究センター, オンライン, 2021 年 9 月 18 日.
- 中野耕太郎, 戦後反動再考——新しい『冷戦』論とマッカーシズム, 冷戦研究会第 58 回例会: 益田肇『人びとのなかの冷戦世界——想像が現実となるとき』合評会, オンライン, 2021 年 10 月 23 日, 招待, パネル報告へのコメント.
- 中野耕太郎, 司会, 高木八尺 その学問と社会活動——CPAS 高木八尺デジタルアーカイブ公開に寄せて, CPAS 公開シンポジウム, 東京大学アメリカ太平洋地域研究センター, オンライン, 2021 年 11 月 6 日.

I. その他の活字にならない研究活動

- 『西洋史学』(日本西洋史学会) 編集主任幹事.

中村元哉 (NAKAMURA Motoya)

A. 著書

- 村田雄二郎・中村元哉ほか編, 『明治以降日本人の中国旅行記(解題)』補遺(戦後編), オンライン [doi/10.24739/00007426], 東洋文庫超域アジア研究部門現代中国研究班, 2021.

B. 分担執筆

- 中村元哉, 中国憲法史における尊厳概念——その背後にある政治思想, 加藤泰史ほか(編), 『東アジアの尊厳概念』, p. 538, pp. 199–220, 法政大学出版局, 2021.

D. 一般学術論文

- NAKAMURA, Motoya. Liberalism in Hong Kong and Taiwan during the cold war. *Modern Asia Studies Review*, 12. [doi/10.24739/00007431], 東洋文庫, 2021.

F. その他の業績

- 中村元哉, 書評, 黄克武《顧孟餘的清高: 中國近代史的另一種可能》(香港: 中文大學出版社), 中央研究院近代史研究所集刊, 114, pp. 131–136, 中央研究院, 2021.
- 中村元哉, 書評, 蔣介石の書簡外交, 日本経済新聞, 朝刊 4.17, 日本経済新聞社, 2021.

G. 国際学会

- 第 10 回「中国当代史研究」, 「中国当代史研究」国際ワークショップ, 華東師範大学(上海), 2021.12.4, 中国語, 日本側代表主催者・コメンテーター.
- 冷戦下における日本と中華圏の人物交流史, 東洋文庫国際シンポジウム, 東洋文庫(東京), 2021.9.10, 一般報告, 日本人中国旅行記: 政治団体, 中国語, 主催者・総合司会.
- Behind the Scenes: Rethinking the Second Sino-Japaneses War from A Civilian Perspective [online], 12th International Convention of Asia Scholars, Kyoto Seika University (Kyoto), 2021.8.26, 英語, Discussant.

H. 国内学会

- 日本現代中国学会 2021 年度全国学術大会特別分科会「大きく変化する中国をどう研究するの

か」, 日本現代中国学会, 西南学院大学 (福岡), 2021.10.24, 日本語, 主催者.

- 国際ワークショップ「近現代中国・台湾をめぐる政治思想史研究の現在」, 東洋文庫, 東洋文庫 (東京), 2021.5.29, 中国語, 主催者・総司会.
- 東洋文庫超域アジア部門現代中国国際関係・文化グループ 2021 年度第 1 回研究会・国立国会図書館関西館合同企画「新たな現代中国研究の推進」, 東洋文庫 (東京), 2021.4.17, 一般発表, 上海新華書店旧蔵書コレクションと学術研究, 日本語, 主催者・総司会.

I. その他の研究活動

- 高大連携歴史教育, 大阪市立東高校 (大阪), 2021.11.12, 講演, 歴史から現在を読み解く: 清朝の歴史と現代中国の関係性, 日本語.
- 高大連携歴史教育, 三重県立飯南高校 (松阪), 2021.11.2, 講演, 世界史から現在を読み解く: 銀行とタピオカ・ミルクティーと中国, 日本語.
- 高大連携歴史教育, 浜松西高校 (浜松), 2021.9.2, 講演, 日本が牽引する世界の近現代中国研究の最前線: 歴史から現在を読み解く, 日本語.
- 日中基金事業, 公益財団法人笹川平和財団 (東京), 2021.7.12, アドバイザー, 日本語.
- 中国人留学生史研究会, 神奈川大学 (横浜), 2021.6.5, 報告, 上海新華書店コレクションについて, 日本語.
- 科研基盤 A 研究会「中国の改革开放萌芽期の再検討——メディア空間からみた旧東欧との分岐」, 科研基盤 A (代表・中村元哉), 東京大学 (東京), 2020.5.1, 報告, 日本の中国近現代史研究の動向, 日本語.

西川杉子 (NISHIKAWA Sugiko)

C. レフェリー付き学術論文

- Nishikawa, S. Henri Arnaud in London, 1699. *Riforma e Movimenti Religiosi*. 10. pp. 171–190. Rivista della Società di Studi Valdesi. 2021.

F. その他の業績

- 西川杉子, クローズアップ: コロナ禍における大学での試み, 『山川歴史 PRESS』, 1, pp. 2–5, 山川出版社, 2021.
- Nishikawa, S. Introduction (Special Feature: William III and the Glorious Revolution). *The East Asian Journal of British History*. 8. pp. 1–3. The East Asian Society of British History. 2021.
- 西川杉子, 世界史『[令和 3 年度] 中学社会: 歴史: 未来をひらく』, pp. 20–23, 26–29, 98–103, 148–153, 教育出版, 2020.

G. 国際学会

- Exploring Early Modern Protestant Mission. Utrecht University. Zoom 開催, 2021. 1. 22. 発表, The Society for Promoting Christian Knowledge and its Networks. 英語.

H. 国内学会

- 第19回歴史家協会大会，立命館大学，Zoom開催，2021.6.13，招待講演，イングランドの「宗教的同胞」——ユグノーとヴァルド派を中心に——。

I. その他の研究活動

- Nishikawa, S. The documentary “The Promised Land” (parts 1 and 2) the national INFO TV channel on 6–7 November 2021. 出演（リトアニアにおけるスコットランド共同体について紹介）。

橋川健竜 (HASHIKAWA Kenryu)

F. その他の業績

- 橋川健竜，特集に寄せて，『アメリカ太平洋研究』21，pp. 5–6，東京大学アメリカ太平洋地域研究センター，2021年3月。
- Hashikawa, Kenryu. Editor's Introduction. *The Japanese Journal of American Studies*, 32, pp. 1–5，アメリカ学会，2021。
- 橋川健竜，新時代の地域研究とグローバル・スタディーズのために——グローバル地域研究機構，駒場70年史編集委員会編『駒場の70年 1949–2020 法人化以降の大学像を求めて』，p. 468，pp. 251–252，東京大学出版会，2021年。

G. 国際学会

- Biennial Conference. International Australian Studies Association (InASA). Online. February 9, 2021. 一般発表，“Developing Australia-Japan Connection from UTokyo: The Visiting Professor Program at the University of Tokyo.” 英語。

長谷川まゆ帆 (HASEGAWA Mayuho)

B. 分担執筆

- 長谷川まゆ帆，「人文科学系」，東京大学教養学部編『駒場の70年 1949–2020——法人化以降の大学像を求めて』468，pp. 145–150，東京大学出版会，2021。

G. 国際学会

- 日仏歴史学会第9回研究大会，日仏歴史学会，東京，2021.3.29，第二報告司会（芹生尚子「啓蒙の世紀における軍隊の影で——平和と改革の時代にフランス軍を脱走した兵士たちの記録が問いかけるもの」）。

H. 国内学会

- 増田一夫代表科研(B)研究課題「結婚の歴史再考——フランスの事例から見る〈ポスト〉結婚、生殖、親子、家族」，研究会報告，「フランス歴史学における結婚と「同性愛」——教会による〈性的不能者裁判〉研究などを手がかりに」，2021.8.28。

原 和之 (HARA Kazuyuki)

B. 分担執筆

- 原和之, 「肖像」のエゴイズム: ジョイスとラカン, 白百合大学 言語・文学研究センター編・井上隆史責任編集, 『アウリオン叢書 20 身体と身体——パフォーマンス・批評・精神分析』, 159 p, pp. 121–152, 弘学社, 2021.

F. その他の業績

- 原和之, 「グローバル化」と前期課程外国語教育, 駒場 70 年史編集委員会 編, 『駒場の 70 年 1949–2020: 法人化以降の大学像を求めて』, 東京大学出版会, 2021.

H. 国内学会

- 科学研究費補助金基盤研究 (B) 「結婚の歴史再考——フランスの事例から見る (ポスト) 結婚、生殖、親子、家族」研究会, オンライン, 2021.3.21, 精神分析の心変わり—フランスにおける精神分析と同性婚.
- 表象文化論学会第 15 回研究発表集会, 表象文化論学会, オンライン, 2021.12.4, 精神分析理論への同性愛の可能な包摂のための前提的問題について——J・ラカンの議論を手がかりに.
- 日本ラカン協会第 21 回大会シンポジウム「ジョイス・結び目・精神病: 『サントーム』をめぐる」, 日本ラカン協会, オンライン, 2021.12.5, はじめに.

I. その他の研究活動

- 日本ラカン協会論集『I.R.S.——ジャック・ラカン研究』第 20 号の編集・制作 (2021.9.30 発行).
- 日本ラカン協会・東京大学大学院総合文化研究科原和之研究室の共催による研究会 (2021.11.21, 井上卓也 (日本学術振興会特別研究員 PD) 「主体の歴史と精神分析技法の成立: 初期精神分析史の再検討にむけて」) の組織及び司会.

平松彩子 (HIRAMATSU Ayako)

B. 分担執筆

- 平松彩子, 「第 3 章 連邦議会——福祉国家と政党の変容」, 久保文明、中山俊宏、山岸敬和、梅川健 編著, 『アメリカ政治の地殻変動 分極化の行方』, p. 14, pp. 43–56, 東京大学出版会, 2021.

H. 国内学会

- 慶應比較政治セミナー, 慶應義塾大学法学部政治学科地域研究・比較政治グループ, 慶應義塾大学三田キャンパス, 2021 年 11 月 13 日 (土), 招待講演, 「旧権威主義地方の統合: 投票権法成立後の米国深南部三州における有権者登録の執行と民主党制度改革」.

藤岡俊博 (FUJIOKA Toshihiro)

D. 一般学術論文

- 藤岡俊博, レヴィナス・享受論の射程——思想史的観点から, 『立命館哲学』, 32, pp. 1–54, 立命館大学哲学会, 2021.

F. その他の業績

- 藤岡俊博, 人間性の極限を考える, 対談, 『図書新聞』, 3494, 2021.4.24.
- 藤岡俊博, 汝、徒に席を塞ぐなかれ, エッセイ, 『UP』, 584, pp. 7-11, 東京大学出版会, 2021.6.

H. 国内学会

- 「暴力と形而上学」、あるいは思考と暴力——J. デリダ、E. レヴィナスと共に考える, 三田哲学会, オンライン, 2021.1.25, コメンテーター, 無限と自我——鈴木康則氏『条件への思考』によせて,
- 渡名喜庸哲著『レヴィナスの企て』合評会, レヴィナス協会, オンライン, 2021.5.15, コメンテーター, 人間の「多層性」における「倫理」の地位——渡名喜庸哲『レヴィナスの企て』によせて,
- いま「暴力」を考える, 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻, オンライン, 2021.6.26, 企画・組織・司会,
- 科研費研究会, 基盤研究 (B) 結婚の歴史再考——フランスの事例から見る (ポスト) 結婚、生殖、親子、家族, オンライン, 2021.8.28, 発表, 代理懐胎をめぐる S・アガザンスキによる議論とその検討,

藤崎 衛 (FUJISAKI Mamoru)

E. 翻訳

- 藤崎衛 (訳), ジェフリー・バラクロウ (著), 『中世教皇史 改訂増補版』, p. 382, 八坂書房, 2021.
- 高山博, 佐藤昇, 藤崎衛, 田瀬望 (訳), デイヴィッド・アブラフィア (著), 『地中海と人間——原始・古代から現代まで』, p. 1030, (第 III 部, 第 IV 部第 1～4 章担当), 藤原書店, 2021.

F. その他の業績

- 藤崎衛, 新刊紹介, ベルンハルト・シンメルペニツヒ (著)『ローマ教皇庁の歴史 古代からルネサンスまで』, 『史学雑誌』, 130.4, pp. 111-111, 2021.
- 藤崎衛, コラム, 予言の棺, 『地中海学会月報』, 443, pp. 5-5, 2021.

G. 国際学会

- Papstzoom. Seminar of Professor Jochen Johrendt. Bergische Universität Wuppertal (online). 2021.7.15, 一般発表, Knowledge, Study and Teaching of Foreign Languages in Thirteenth- and Fourteenth-Century Papal Curia. 英語,

H. 国内学会

- 第 17 回大会シンポジウム「前近代世界における宗教運動と文化交流の諸相」, メトロポリタン史学会, 首都大学東京 (オンライン), 2021.9.25, 中世カトリック圏ヨーロッパとモンゴルの間における相互理解と誤解,
- 上智大学中世思想研究所講演会, 上智大学中世思想研究所, 上智大学 (オンライン), 2021.11.18, 「教皇史」を学ぶ——G・バラクロウ『中世教皇史 [改訂増補版]』藤崎衛訳 (八坂書房) の刊行を記念して,

黛 秋津 (MAYUZUMI Akitsu)

F. その他の業績

- 黛秋津, 項目執筆, ルーマニアの要塞教会, ルーマニアの観光, ルーマニアの食文化, 中欧・東欧文化事典編集委員会(編)『中欧・東欧文化事典』, p. 866, pp. 292–293, 318–319, 500–501, 丸善出版, 2021.
- 黛秋津, 惜しみなく与えることの教え: 安岡先生を送る『ODYSSEUS』25, pp. 209–211, 2021.

H. 国内学会

- ワークショップ「オスマン対外関係の諸相」, 文部科学省科学研究費・学術変革領域研究 (A)「イスラーム的コネクティビティにみる信頼構築: 世界の分断をのりこえる戦略知の創造」(イスラーム信頼学)(東京外国語大学アジアアフリカ言語文化研究所), オンライン開催, 2021.11.26, 招待講演, オスマン対外関係の中の付庸国: 18世紀の黒海地域を中心に.

村松真理子 (MURAMATSU Mariko)

G. 国際学会

- イタリア文化会館(イタリア外務省機関)主催記念講演会「日本におけるダンテ 700 年」, 東京イタリア文化会館(東京・トリノ・パドヴァ, オンライン同時開催), 2021.6.23, 招待講演『『神曲』の森と植物をめぐる——大江健三郎とマリア・コルティの対話から』.
- イタリア学会主催, イタリア学会 2021 ダンテ国際シンポジウム「今、ダンテを問う——詩人没後七〇〇年・学会創立七〇年を記念して」, 京都産業大学(オンライン同時開催), 2021.10.24, 組織委員, 午後の部「越境するテキストの旅と記憶」司会および趣旨説明・コーディネート, ラウンドテーブル「ダンテのテキストにおける古代・中世と現代性」司会.

I. その他の活字にならない研究活動

- 在日イタリア大使館制作オンライン配信ビデオ「ダンテ 700 年を記念して～イタリアの詩聖とその文学を語る～ - 700 Anni di Dante Alighieri」(<https://www.youtube.com/watch?v=5xfsikM1rAg>), 企画・制作および出演.

森井裕一 (MORII Yuichi)

B. 分担執筆

- 森井裕一, ドイツ: EU における役割の重要性, 植田隆子編『新型コロナ危機と欧州——EU・加盟 10 カ国と英国の対応』, 文眞堂, 2021, pp. 112–131, p. 335.

D. 一般学術論文

- 森井裕一, 欧州政治の行方とドイツの役割, 『修親』, 5月号, pp. 6–9, 2021年.
- 森井裕一, ポスト・メルケルに動き出したドイツ, 『外交』, Vol.65, pp. 76–81, 2021.

F. その他の業績

- 森井裕一, (解説)世界の今を読む: 選挙後のドイツ政治, 『UP』, Nr.590, 12月号, pp. 12–17.

2021.

- 森井裕一. (解説) 複雑・多党化する独次期政権. 『毎日新聞』, 2021.10.21, 朝刊, 11 面.

H. 国内学会

- 森井裕一. (発表) EU のインド太平洋外交とドイツのリーダーシップ. 日本国際政治学会, 2021 年度研究大会 (オンライン開催), 部会 13 「地域制度形成の国際関係——国際連携ダイナミズムの理論的検討」, 2021.10.31.

森山 工 (MORIYAMA Takumi)

A. 著書

- 森山工『贈与と聖物——マルセル・モース「贈与論」とマダガスカルの社会的実践』, vi+309+47 pp., 東京大学出版会, 2021 年 8 月 31 日.

F. その他の業績

- 森山工・山田広昭. 「[対談] マルセル・モースと贈与のモラル」, インスクリプト, 2021 年 3 月 6 日, ホームページ公開, <https://inscript.co.jp/contents/20210306>.
- 森山工. 「ようこそ、教養学部という「迷宮」へ」, 『教養学部報』626 号, 東京大学教養学部, 2021 年 4 月 1 日, p. 1.
- 森山工. 「東大教師が新入生にすすめる本」, 『UP』第 50 巻第 4 号 (通巻 582 号), 東京大学出版会, 2021 年 4 月 5 日, pp. 18–19.
- 森山工. 「令和 3 年度入学式 教養学部長式辞」, 『学内広報』1546 号, 東京大学広報室, 2021 年 5 月 25 日, pp. 3–4.
- 森山工. 「教養教育で「潜在力」鍛えよ」, 『東大 2022——東大スクラッチブック』, 東京大学新聞社, 2021 年 9 月 10 日, p. 64.
- 森山工. 「マダガスカルで呪術師の宣告を受けて——異なる「物語」へと耳を澄ます」, 東京大学教養学部国際交流センターグローバルゼーションオフィス, 2021 年 10 月 26 日, ホームページ公開, https://note.com/utokyo_komaba_go/n/n43ea873ac54d.
- Moriyama, T. “Diversity of Knowledge at the College and the Graduate School of Arts and Sciences”. 『教養学部報』631 号, 東京大学教養学部, 2021 年 11 月 1 日, p. 1.
- 森山工. 「総合的教育改革」, 駒場 70 年史編集委員会編『駒場の 70 年 1949–2020——法人化以降の大学像を求めて』, 東京大学出版会, 2021 年 11 月 30 日, pp. 131–135.

H. 国内学会

- 科学研究費補助金基盤研究 (B) 「結婚の歴史再考——フランスの事例から見る (ポスト) 結婚、生殖、親子、家族」 (課題番号: 20H04419, 研究代表者: 増田一夫) 研究会, Zoom, 2021 年 5 月 8 日, 発表「文化人類学から見た恋愛・結婚・親子関係——「恋愛を考える」を考える」.
- 東京大学東京カレッジ・シンポジウムシリーズ「人文社会科学の未来」——文系・理系という区分の再考, Zoom Webinar, 2021 年 7 月 12 日, 発表「学術分野の区分について」.

I. その他の研究活動

- 三菱 UFJ 信託銀行, 「次世代経営リーダー研修」, 三菱 UFJ 信託銀行本店研修所, 2021 年 9 月 25 日, 講義「〈信託〉の原理——何が人を贈与へと駆り立てるのか」.

矢口祐人 (YAGUCHI Yujin)

B. 分担執筆

- Yaguchi, Yujin, Learning ‘American’ from the Mennonites. Yoshihara, Mari (ed.). *Unpredictable Agents: The Making of Japan’s Americanists during the Cold War and Beyond*. p. 227. pp. 75–87. University of Hawai‘i Press. 2021.

F. その他の業績

- 矢口祐人, 「構造と差別——Black Livers Matter から考える日本のキャンパス」, 『人権問題リフレット』, pp. 43–64. 奈良女子大. 2021.
- 矢口祐人, 「分断の修復へ向け」, 『グローバル経営』, 488. pp. 8–9. 日本在外企業協. 2021 年 5 月.
- 矢口祐人, 「「9.11」から 20 年 アメリカがまだ目を背けている「重要な問題」テロの記憶を、どのように継承すべきか」, 『現代ビジネス』<https://gendai.ismedia.jp/articles/-/87058>. 2021.
- 矢口祐人, 「日本軍の真珠湾攻撃は「2 度目」だった……日本人が知らない「もう一つの歴史」～二国の「エゴ」に挟まれたハワイの思い」, 『現代ビジネス』, <https://gendai.ismedia.jp/articles/-/90096>. 2021.

H. 国内学会

- 「いま「暴力」を考える」, 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻. 2021 年 6 月 26 日, 「暴力と非暴力のアメリカ」.
- 「ポスト・コロナの日米関係と世界の展望: 第 2 次世界大戦からポスト・コロナへ」 南山大学アメリカ研究センター. 2021 年 10 月 23 日, 招待公演, 「真珠湾の記憶」.

山口輝臣 (YAMAGUCHI Teruomi)

D. 一般学術論文

- 山口輝臣, 「広田先生の時代錯誤 (アナクロニズム)、三四郎の時代錯誤 (アナクロニズム)」, 『ODYSSEUS』 25. 111–138 頁. 2021 年 3 月.

F. その他の業績

- 山口輝臣. 取材, 「象徴天皇と密接不可分」, 共同通信社配信. 2021 年 1 月 1 日.
- 山口輝臣ほか. 討論記録, 「ディスカッションの記録」, 『広島大学文書館紀要』 22. 82–92 頁. 2021 年 3 月.
- 山口輝臣. 取材, 『100 年の森 明治神宮物語』, 産経新聞社. 144 頁. 2021 年 6 月.
- 山口輝臣. 寄稿, 「日本史 歴史学の思考法を学んで」, 『東京大学新聞』 第 2967 号. 8 面. 2021

年9月14日。

- 山口輝臣。編集。『駒場の70年 1949–2020 法人化以降の大学像を求めて』。駒場70年史編集委員会編。東京大学出版会。468頁。2021年11月。

ロビンス, ロジャー (ROBINS Roger)

C. レフェリー付き学術論文

- Robins, Roger G. 2021. “Pentecostalism in America.” In *Oxford Research Encyclopedia of American History*. Oxford University Press, 2014–. Article published January 22, 2021.
- Robins, Roger G. 2021. “Evangelicalism before the Fall: *The Christian Herald and Signs of our Times*.” *Religions* 12.7. pp. 504. Article Published July 6, 2021.
- Robins, Roger G. 2021. “Pragmatism and the Political Turn: The Assemblies of God in Springfield, Missouri,” *Missouri Historical Review* 116.1. pp. 25–47 (October 2021).

F. その他の業績

- Radio Interview (topic: Pentecostalism). Annabelle Quince, “Rear Vision,” ABC Radio National, Australia, May 20, 2021, 14:30–15:30.

G. 国際学会

- Robins, Roger G. 2021. “The Political Turn in 20th Century Pentecostalism: Deliverance Evangelists, Prophets, and Businessmen.” Presented to the Religion and Politics Unit, Annual Meeting of the American Academy of Religion, San Antonio, Texas, November 22, 2021.

I. その他の活字にならない研究活動

- Peer review for *Religions* (journal) [1 article].

和田 毅 (WADA Takeshi)

D. 一般学術論文

- 和田毅, 三浦航太. 「ラテンアメリカにおける水紛争」日本平和学会 2021 年秋季研究集会報告論文. 2021.
- Wada, T. Studies of Repertoires of Contention in Latin America. *Conference Proceedings from LASA2021 “Crisis Global: Desigualdades y Centralidad de la Vida.”* XXXIX International Congress of the Latin American Studies Association. 2021.
- Wada, T. Geographic Distribution of Water Conflicts Worldwide: A Comparative Analysis of Four Databases. *SDGs Collaborative Research Unit. JSPS Grant Research Project “The nexus of international politics in climate change and water resource, from the perspective of security studies and SDGs.” FY2020 Working Paper Series No.9.* Institute for Future Initiatives, The University of Tokyo. 2021.
- 和田毅. 水紛争はどこで起きているのか——各種データベースの比較検討を通じて——. *SDGs 協創研究ユニット科研費基盤 A プロジェクト「気候変動と水資源をめぐる国際政治のネクサス」*

2020 年度ワーキングペーパー・シリーズ No. 9, 東京大学未来ビジョン研究センター, 2021.

F. その他の業績

- 和田毅, グローバル・スタディーズ・イニシアティヴ (GSI) 国際卓越大学院の立ち上げの経緯, 駒場 70 年史編集委員会 (編), 『駒場の 70 年 1949–2020——法人化以降の大学像を求めて——』, pp. 121–122, 東京大学出版会, 2021.
- 和田毅, LASA2021 参加記, 『日本ラテンアメリカ学会会報』No. 135, pp. 31–32, 2021.

G. 国際学会

- LASA2021. Latin American Studies Association. オンライン開催, 2021.5.26–5.29, 一般発表, Studies of Repertoires of Contention in Latin America. 英語.
- LASA2021. Latin American Studies Association. オンライン開催, 2021.5.26–5.29, 一般発表, Transformation of Mexican Civil Society: A Historical and Spatial Analysis of Popular Protests, 1955–2018. 英語.
- LASA2021. Latin American Studies Association. オンライン開催, 2021.5.26–5.29, The Asia and the Americas Track. 座長.
- LASA2021. Latin American Studies Association. オンライン開催, 2021.5.26–5.29, Sessions on “Protest Event Analysis in Latin America,” “Asian immigrants and communities,” “Rising China and Latin America,” “Chinese communities, literature, and art,” & “Asia and Latin America in Comparative Perspectives.” 組織委員.

H. 国内学会

- 日本平和学会 2021 年秋季研究集会「平和の価値と平和研究の価値——新しい知的原動力の創造」部会 7 資源と紛争, 日本平和学会, オンライン開催, 2021.11.7, 一般発表, ラテンアメリカにおける水紛争.
- 「グローバル・スタディーズ研究教育拠点の設置と政治社会学的実践」東京大学グローバル・スタディーズ・イニシアティヴ・セミナー, オンライン, 2021.4.27.
- SDGs シンポジウム: 気候変動と水資源をめぐる国際政治のネクサス, 東京大学未来ビジョン研究センター, オンライン開催, 2021.2.22, 一般発表, Water Conflicts from a Panoramic Perspective and under a Magnifying Glass. 英語.

渡邊祥子 (WATANABE Shoko)

C. レフェリー付き学術論文

- Watanabe, S. Making an Arab-Muslim Elite in Paris: The Pan-Maghrib Student Movement of the 1930s. *International Journal of Middle East Studies* 53.3, pp. 439–454. Cambridge University Press. 2021.

H. 国内学会

- 渡邊祥子, 近代国家形成とイスラーム知識人: アルジェリア・ウラマー協会の場合, 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所共同利用・共同研究課題「現代ムスリム知識人の変容

と交流」研究会，オンライン，2021 年 8 月 7 日，

I. その他の研究活動

- 渡邊祥子，植民地期マグリブにおける宗教、言語とナショナリズム，東京大学東洋文化研究所 2021 年度第 3 回定例研究会（着任研究会），オンライン，2021 年 11 月 18 日，